第五千九百二十七號　（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）　THE KEIJO NIPPO　（木曜日）　大正十三年五月二十九日

京城日報

二十八日夕刊

本紙定價　一箇月金壹圓（郵税共）
廣告料金　五號活字一行金四十五錢　七號活字同
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城府太平通一丁目　京城日報社
電話（光）長距離二番

勳章御下賜も交渉中

[illegible]

三十日朝の特急列車にて北上する豫定であつたが都合に依り日程を早めて一泊二十九日夜七時五十分發奉天行き列車で出發北上すると

京城日報

排日的立法に關し米國の基督教徒諸君に呈す

米國の基督教徒諸君が山海萬里を隔てた東洋の天地に於て多年、多大の不便を忍んで基督の教へた四海同胞主義を宣傳し人類愛を鼓吹せらるゝことは吾々の衷心から感謝する所であり且つ敬意を致して居る所である。今後と雖も諸君は同一精神を以て益々人類平和の爲めに貢獻せらるゝことを信ずるのであるが、唯吾々の奇怪に堪へぬのは諸君の本國が果して基督の精神を了解するや否やを疑はざるを得ざる事である。

諸君の本國は既に久しき以前から東洋の有色人種を區別して劣等の待遇を與へてゐる。たゞ日本といふ一國の有色人種に對してのみ極めて僅少の除外例を形式の上に設してゐたのである。然るに今度といふ今度は遂に其僅かばかりの除外例をも全く取り去つて、總ての有色人種を劣等なものとして米國といふ天父の創造し給うた地域から放逐することにして了つた。

諸君の宣傳する基督の教によると人類は其皮膚の色別に拘らず均しく神の創造し給ふ所であつて其間に決して上下の差別はないのである諸君は常にバイブルの文句を引證して東洋の吾々に對して此四海同胞主義を說いてゐるのである此地球も亦天父の創造し給ふ所であつて、人類全般が共同的に共利益を享受すべき筈のものである。倂々人類現在の文化程度に於いては國家といふ一個の制度が行はれてゐて、人類全般が地球全面の利益を共同的に享受するに不便な點が少くない。諸君は基督の精神によつて少しでも此不便を輕減しようとして何時もながら此四海同胞主義を說くことを忘らないのである。

然るに諸君の本國は其立法機關を以て四海同胞主義を叩き潰し、諸君が東洋の人類に對して熱心に說きつゝある共主義其精神を嘲笑して、諸君の背後から大きな赤い舌をペラ〳〵と出してゐるのである。その昔、基督の在世當時、基督が猶太人以外に其教を說くのを見て猶太人は甚しく其自尊心を傷けられた。アブラハム以來、神の選民として異邦人と峻別して來た其プライドを汚されたものと感じたのである。彼等が基督を十字架上に殺戮した原因の一つは確かに茲に存するのである。然るに諸君の救主たる基督は斷乎として此猶太教的精神に反抗して共弟子達を異邦人の間に遣して其福音を宣傳せしめた。諸君が今遠く故國を離れて此東洋の天地に來て四海同胞主義を說いてゐるのは、即ち基督が一千九百年前に『天のうち地の上の凡ての權を我に賜はれり。是故に爾曹ゆきて萬國の民にバプテスマを施し之を父と子と聖靈の名に入れて弟子とし、且つ我が凡て爾曹に命ぜし言を守れと彼等に敎へよ』と告げた言葉に基因してゐるのである。然るに諸君の本國は今や國家的に基督敎に對して叛旗を飜へして同じ天父の子たる人類を兩分して一つを神の選民として自ら高く誇耀すると共に、他を豚に均しい異邦人として神の教を聞かしむるに足らぬものとする猶太敎に改宗して了つた。

諸君が東洋に於て基督教を說いてゐる間に諸君の本國は基督敎から猶太教に改宗して了つたのである。油斷をすると東洋の異邦人に傳道する諸君を十字架に附けるかも知れぬ。諸君の大統領は軍歸的のステートメントを發して自國が愈々猶太教に改宗したことを已むを得ぬものとして之をジャッスイファイしようとしてゐるのである諸君の代表者たる大統領が自國民の猶太教に改宗したのを已むを得ざる事として辯護するに至つては、諸君が是迄誇りとして來た基督敎國といふ看板は今後如何にするつもりであらう、或は之を太平洋に流して東洋に譲る考へであらうか。但しは又諸君の祖先たる淸敎徒が英國から擔いで來た三百年前に遡つて、メイフラワー號にでも積み込んで之を英國に返戻するつもりであらうか。

吾々は今玆に謹んで米國宣敎師諸君に一言を呈する。東洋に於ける基督敎の傳道は暫く之を東洋人の基督敎徒に託して置いて、諸君は即刻その本國に引き返へし一日も速かに諸君の同色人に基督敎の洗禮を施し、而して後再び東洋に歸り來たつて徐ろに基督敎を說くべきである。諸君に取つては東洋の事よりも諸君の本國の事の方が急務である。否さうしなければ到底地上に天國を來らしむることは絕望であるし。人類は永久に皮膚の色を族印にして天災の恩寵に反して血を流さなければならぬからである。」

遺憾と思ふ點もあるが一般的なる故是認した
排日移民案署名に當り米大統領の陳述書

【東京電報】二十六日米國大統領クーリッヂ氏が排日移民法案に署名するに當り發したる聲明書左の如し（共同電報）

予は本法案に署名するに當り重要諸點に付ては衷心贊成するものであるが只だ現行法律上特に日本人に影響を及ぼすべき排斥條項を本法案から引離す事の出來ないのは予の遺憾とする處である日本國民に對する省察と殊厚な友誼の情は過去に於けると同様今後も依然充分披歴されるであらうが此の情念は本條項の制定に依り何等變化を生ずるものでない事を確認するは予の望ひとする處である、本法案は寧ろ議會が移民取締は國際間の協定に任せずして立法に依つて之を定むる職能を實行せむとする決意を表明するものである、本法案は官吏、商用又は遊覽の爲め一時入國する旅行者、通過旅行者、教授、宗教家、學生及び現行條約の規定の下に貿易商用の爲めに入國する者を排斥條項の外に置いて居る事は注意すべきである、然れども提案の日米間の諒解に依り日本政府は自發的に合衆國への勞働者の移出を阻止すべき手段を採つて來た此歴史的關係並に右關係を生ぜしめた情念に鑑み本件に關し引續き日本の惜まざる協力を得以て無用の法律制定から生ずる誤解の素因を作る事を避けたならば更に良好な結果を齎し且つ移民の實際上の取締に當つて一層有効であつた事と予は考へる而も此手段たるや議會が移民問題を取扱ふに當りて有する共權限を何等毀損するものでない、其結果に對しては何等反對すべき理由はないが之を達成せんとする今次の手段は此際不必要で且つ遺憾すべきものである若しも排斥條項にして單獨のものであつたならば之れが署名を求めらるゝに際し予は之を否認するに躊躇しなかつたであらう、然るに本法案は移民の全問題に關し且つ必要な行政機關の設定に關する廣汎な法案である一九二一年制定の現行比率法は來る六月三十日を以て廢止せられ從つて廣汎な法案が右に代り困難と混雜とを避ける爲め直に之が實施に關する措置を要す事は最も重要である、斯るが故に予は本法案を全體的に考慮し且米國が斯かる一般的の立法を緊要とする所以を考慮し本法案を是認するものである

合は近く議會を開き最後の決定をなす筈である

日本の對米抗議
通商條約に違反すと云ふ外務省案採擇か

【東京電報】二十八日の臨時閣議では對米政策に就き決定を爲す筈であるが此場合取敢ず新移民法案が日米通商條約に違反するとの抗議を米國政府に提出すべしとの外務省案が採擇されるものと觀測されるが右外務省案は

一、新移民法案は日米相互國民の入國居住、移轉、營業、旅行の自由を確認せる現行通商條約の第一條に違反する

二、明治四十四年日米通商條約を更新するに當り第二條の規定即ち米國政府は特令を設け米國々內法に依り日本人の入國移民を制限する事が出來るとの條項を削除した際日本は紳士協約を設け自發的に日本移民を制限する事に兩國政府間に諒解成立した事につて米國が今回日本移民を絕對に排斥するとの法律を制定した事は明かに條約更新の際に於ける聯合なる諒解を無視したものであるとの論據に立つもの〻中一つを採擇する事になる譯である

尼港事件に謝罪の意なし

【北京二十七日發電】カラハン氏は記者に對し尼港事件は謝罪でなく遺憾の意を表するに過ぎないと云つた

日露調印
二週間延期さる

【北京二十七日發電】日露交渉は二十六、三日休會となる筈で調印は二週間延期さるべき事件が生じたとカラハン氏は言明した

查證官派遣地

【東京電報】二十八日閣議の決議で査證官派遣の事は既報の如くであるが目下北京にある龜井代表網口九十馬氏よりの電報に依れば派遣官吏三名は九月十五日迄に在して船舶のみならず汽船の查證をも行ふ事になつてゐるから派遣地は當然南館となつた譯で未だ解決問題未解決の爲め借款契約は調印に至らず延期問題の折衝として[illegible]

總辭職理由は對米外交行詰
骸骨を乞ふは理の當然　某閣僚語る

【東京電報】二十七日の閣議で淸浦內閣が總辭職を決した事は既報の如くであるが愈々骸骨を乞ふの理由としては名を對米外交行詰まりに藉るべしと察せらる一閣僚曰く米國の排日移民法案は今や最後の望みを繫いだ大統領も遂に署名建國以來大義名分を標語とする我國の體面は蹂躙られたのであるから我對米外交の局は依つて來る處久しとは雖も現實の問題に逢着した此上時の政府が責任を負ふのは即ち政治の常道であり又政治道德である閣僚中には意見を異にする者もある樣だが外交の功罪が其時の政府の手に收められ〻以上其失敗も亦時の政府の責任にすべきものであるは理の當然である故に現政府は對米問題に關して潔く骸骨を乞ふ事は理の當然と思ふ云々

拓殖事務局
行政整理で廢止

【東京電報】二十七日の行政整理に關する閣僚委員會で拓殖事務局はこれを廢止することに決定した

日本上陸以來の限りなき好印象を喜ぶ
朝鮮訪問は齋藤總督に招かれて　廿八日入城のメルラン總督語る

二十八日入城せるメルラン總督は日本訪問の感想其の他に就き出迎への記者に對して左の如く語つた

政治上の御質問は一切避けて戴きたいものである。初めて遊る日本の風光は愛すべきものであつたが更に感銘の深かつたのは此の歡迎なる國に住む日本民族の懇切な態度であつた。自分は日本上陸以來絕へず最も愉快な明かるい氣持で過して來た加ふるに到る所で最も盛んな熱烈な歡迎を受け深く衷心より感謝に堪へぬ次第である。斯くの如き好印象を與へられた事は自分として初めてであり永遠に忘る能はざる記憶として殘る事であらう。

東京で特に強く感じた點は彼の恐るべき大震災に遭遇した日本民族の偉大なる復興の力であつた常に沈靜で而も其內部には斯くの如く強き

忍耐力を

藏する日本民族の戰鬪目を瞠めて眼の當り彌見して自分は心から敬意を表するものである。

朝鮮訪問は釜山でも一寸洩らした如く駐日大使クローデル氏が齋藤總督閣下と親交あり日本訪問の際取て朝鮮にも立寄つて行くやうにと勸められ遂に又總督閣下からも歡待懇篤なる招待狀を戴いたのであるが、閣下は旣に世界知名の一流政治家であり加ふるに朝鮮の統治に携はつて居られる點に於て自分と閣下の間は同様の關係にあるので特に親しく感じて會し得るのを非常に喜んで居る次第である。

朝鮮に對

する感想は未だ語るまでに至つて居ない。僅かに二十七日夕刻釜山に上陸して二十八日朝京城に入つたのみであるから何等の語るべき感想も持たないが、此等の語るべき感想を得るために旅行もしてゐるのであるから何か感想があるかも知れない。大使の更迭問題であるが、彼の噂は全く事實無根である。クローデル大使の後任に自分が擬せられて居ると云ふが如きは全く揣摩臆測の噂であつて迷惑千萬と云はざるを得ない。現にクローデル大使は自分の朝鮮訪問を機として態々朝鮮に遠路同行した處である。

朝鮮總督

諸般の事を終ると直に東京に歸つて歸國することになつて居るのである。即ち休養の爲めと云ふのではない。大使として一日も東京を不在になすを得ないからである。終りに京城に入るに當つて、官民を代表せられる觀迎者の熱誠なる御出迎へを受けた事に謝して深甚なる謝意を表するものである」

メ總督動靜

入城中のメルラン總督は總督府に[illegible]

メ總督歡迎午餐會
谷府尹の歡迎の辭に總督答辭を述ぶ

京城府並に京城商業會議所聯合主催のメルラン總督歡迎午餐會は二十八日午後零時四十分より朝鮮ホテルの大食堂に於て開催された主賓はメルラン總督並にクローデル駐日大使以下隨行の六氏陪賓はガロア駐日京城領事、佛人ブレザン兩氏等を始め外務省參事官、京畿道知事、丸山警務局長、長野學務局長、土木部長、谷府尹、渡邊商議會頭を始め主なる官民八十名に達した、食堂入口にはビアンビュウなる歡迎の大額を揭げ室內は日佛兩國旗を以て美しく裝飾された、そして正面中央に主催者谷府尹著席し其右にクローデル大使其左にメルラン總督各著席し主客合せて八十餘名の午餐會は斯くて午後一時開始され總督並に大使は絕えず左右と談笑を交へ極めて和氣靄々たる所がなかつた。軈て一時半デザートコースに入るや谷府尹は拍手に迎へられて起立歡迎の辭を述べ終ると同時に一同起立の間に佛蘭西國歌マルセーユが奏樂され壯嚴なる律呂のみが朗然たる廣い會場に流れて莊嚴のシーンを演出し國歌終れば主客無言の裡に乾盃し次いでメルラン總督答辭を述べ一同又起立の間に國歌君ケ代を奏し再び乾盃し同二時終了し休憩室に入り妓生の餘興を開始して遠來の珍客の勞を慰め三時過ぎ閉會した（寫眞はメルラン總督の乾盃）

全鮮公職者聯合懇話會
愈々具體化し來月中旬開催する

朝鮮十三道の府、面協議會員學校組合議員、學校評議員、商業會議所評議員の步調を一にする目的で昨年來京城府右公職者間に企劃されて居たが二十七日午後鐘路樓上に發起者會合し愈々具體化して來る六月十五日頃第一回の會合を京城に開催する事となつた、全鮮の各面を集めると非常な數に上るので今回は先づ全鮮十二府の四團體公職者の集合を計劃し目下準備府に陳情中であるが會議の名稱は全鮮公職者聯合懇話會と云ふので出席は制限なく希望者は一府から何名でも出席して協議し決議事項の實行に努力すると云ふにあつて會期中四團體の共通事項は全員で協議し組合一個即ち學校組合議員のみの問題と云ふ如き場合は學組委員のみの全鮮的協議をしようと云ふのである。而して一府五人平均出席者を見るとして京城府の全部を合せると約二百名の多數に上り其會場も亦選定に困つて居るが京城公會堂に決定する模樣であると

犯人の逮捕と江岸警備に努む
總督狙擊事件抗議に對して張作霖氏の回答

【奉天二十七日發電】總督狙擊事件に付き、去る二十三日赤塚總領事から嚴重なる抗議を提出した處支那側は大に狼狽し張作霖氏は直に見舞の電報を發し二十五日正式に左の回答をした「日官の惟は至當で當局は恐縮に堪へぬ御要求通り江岸の警備を嚴重にすべき旨を電命し犯人は極力搜査逮捕に努む」

辭令

東京帝國大學教授兼任總督府技師　加茂正雄
總督府技師　宮田弘　燃料選鑛研究所長を命す
敍高等官一等
依願免本官（二十七日附）
忠淸北道知事　朴重陽
忠淸南道知事　金寬鉉
全羅北道知事　[illegible]
全羅南道知事　元應常
慶尙北道知事　[illegible]
慶尙南道知事　和田純
黃海道知事　[illegible]
平安南道知事　米田甚太郎
平安北道知事　生田淸三郎
江原道知事　尹甲炳
咸鏡南道知事　李圭完
咸鏡北道知事　中野太三郎
出府を命す（各通廿八日附）
鐵道部長　弓削幸太郎
慶尙北道管內へ出張を命す（廿六日附）

自然の印象に生きよ
藝術上の定見に就て（上）　鮮展審査員　小室翠雲氏語る

鮮展第一部審査員小室翠雲氏は廿七日午後十時二十五分着列車にて入城鮮展事務總長、[illegible]等の出迎へを受けて直に朝鮮ホテルに入つたが元氣な氏は旅裝も解かず記者に次の如く藝術上の定見を語つた。

一

鮮展に表はれる鮮人側作品の中には支那崇拜的な氣分があるが此點は大に研究し、時機、調和、自然、氣韻、大小、濃淡等の作畫上の手段を忘れてはならぬのであつて此の等を忘却すると寫生は寫眞的となり藝術上の價値を失はなければならないのである。西洋の畫家に於ても肉眼より入つたものその儘であることを主張した印象派が後期印象派となり、未來派と進化して今日は內容を觀破すべき新しき派となつてゐるが、眼より受ける印象のみでは滿足出來ず、その綜合的な態度から見てその一つ一つの花の隅々まで價値となつた理である。假へば花を纏繞に描き上げるのを客觀とすれば、一方主觀的と云えばその花の大きな集團を捕へて感動を以て描くことである。自然其儘の姿態を寫さうとしてもそれは全く不可能な事であつて、その結果は綜合的に大體、眼より自己の精神を通して心より感激に迫る所に表現の真である。個性表現と云ふ事の大切なるは文學にしろ彫刻にしろ皆然りである、若し文章に於て他人のものを模倣したとすれば直に氣がつくのであるが繪の上ではそれが隨分に許されてゐる——氣が附かないで濟まして居る。

◇

例へば朝の陽光も暮く、夕陽も淋しい然し決してこれは同一の趣味ではない、朝の爽かな喜びを表現するならば夕べの淋しさは寂寥を語るであらう。自然は常に一刻を待たず變化してゐるものであつて畫家は此變化を愛し、畫家は他人に語り度い、次いでは之れを最も美しく表現したいために描くのであつて、是こそ畫家の本領であり主觀的傾向の發端であるのである。寫生は一種の表現手段で描くべきものであつて寫實的色調を以ては自然模倣に成功したものと何らして恐々やらぬぞ。

◇

近來科學的進化に依つて種々の機械にも大變な進歩を來し、寫眞術の如きも昔は色彩があつたもの今では二十、三十と云ふ色彩を得られることゝ成りこれを利して出來得る限り自然の色に迫らうとするものもあるが此の大自然の再現は不可能な事に屬する。先般の彼の大地震にしろ誰か一人——一分後に大地震あり……と叫び得た者があるであらうか自然の變化の一分先をも知り得ぬ人間の力である、一分先には地球の半分が揺り動くのにそれを知ることが出來ない。吾々は自然に接した感動を表現するより致し方は無いのである、自然の力を描くのである、一木一石たりとも再現は不能である、自然の印象に生きるのである。

◇

此處に墨で描かれた牡丹があるとする一方には極彩色の寫實風のものがあるとする。誰が此處で其場合必ず後者がよいと斷言し得やうか。寫實家から見れば牡丹は赤であり竹は靑であるかも知れないが墨を使つて描くものはその心眼を透して是を見たのであつて必ずしも寫實でなければならぬ要はないのである。

辰市辯護士危篤

辯護士辰市木丸氏は豫て病氣に罹り大和町二の一七の自宅で療養中病勢急變し昨今危篤の狀態に陷つた

人事消息

▲藤野千太郎氏（新任忠北內務部長）は前任地新義州より家族同伴每日申報忠北支局長許桂氏を隨へ廿八日朝入城、浦尾に投宿三十日朝赴任の筈
▲高木背水氏（洋畫家）東上中の所二十八日朝歸城
▲島岡氏（取引所監督官）目下入城中の處二十九日朝出發北行
▲小松季行氏（農商務省食糧局大阪出張所長）同上

茶話

▲內地は一般に於て年一年と選擧氣分が益々濃厚になりつゝあることは誰しもこれを首肯する所であるが▲今回の內地の總選擧狀態を見て來た平井商工課長の語る所によると、東京は素晴らしい數ひで學生が辯論になつて自動車に乘り宣傳ビラを撒くやら萬歲をやるやら其宣傳運動は實に目覺ましいものであつたと▲それはかりでなく最も奇抜なものになると犬の首に候補者の名前を下げてそれを連れて歩くもの、或は馬の首に候補者の名前を貼つてそれを引出すものもあつた相だ▲これが當の大學の學生と云ふのだらうとの話しだが、其外婦人の運動もまた素晴らしいものであつたとの事だ▲斯ふして政治氣分が學生や婦人にまで斯く浸透した事は今回の總選擧が始めてであらうが、これは一面に於て普選の必要の迫りつゝあることを有力に物語るものであらふ▲それと同時に米國の排日なる直接行動が如何に我國民を刺戟したかを痛切に感ずるもので、我輩は最早徒らに米國などを相手にせず、普選でも斷行して大に國力を增し帝國は帝國として堂々と進むべきである。

氣象日報（廿八日）

廿八日朝高氣壓は支那北部に擴張し日本海方面に氣壓低し全鮮一般に晴天にして南鮮は北風吹けり、廿九日京城は概ね晴なれども一時曇るべし

天氣豫報（廿九日）

晴　一時曇

廿八日正午　攝氏一九度三　華氏六六度七
廿七日最高　攝氏二〇度八　華氏六九度四

久留米絣

本織元は三四割も確に安い男女御注文の時は御返送り又は旅行見計現品を送る定價表進呈
福岡縣久留米市通三　小國商會

灸點ト接骨

如何ナル難病モ立所ニ効アリ
醫藥ニ効ナク病苦ニ惱メル者來レ
萬病立所ニ効アリ
靈肉一致不問診斷百發百中雜誌現代ノ去年九月號ニ社說ヲ以テ照會セラレタル者御座候
京城旭町野菜市場（電話本七四三番）
㊄京 俱樂部內 澤田健

文化夜具入

御旅行の時御轉任の節非常火災の時上等夜具保存に長持代りとして是非無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入れ
三枚入—【七、六、五〇五〇】
四枚入—【八、七、五〇五〇】
五枚入—【九、八、五〇五〇】
生地は强靭なるズックを使用し有り水の漏る心配無し永久使用に耐ゆ地方よりの御注文は代金引換郵便にて發送仕るべく鞄其他御注文　應じ如何樣にも調進いたします
鞄製造販賣　京城本町一丁目　高木鞄店　電話本局二三四番

御成婚記念大賣し

を兼ね　意外の好評を頂きました大賣出し
御禮として　本日より向三日間

大々的夏物廉賣デー

各種大見切均一品澤山
京城本町貳丁目
本店　オワリヤ洋品店
支店　ナニワヤ洋品店

奉祝用國旗廉賣

一金一、六五　本毛斯一巾極上生地
一金一、五五　本染一巾二尺四寸
一金　、六〇　同上　次品　新上毛斯巾二尺五寸
外、萬國旗、旗竿、金玉
奉仕的廉賣致します
在庫品少數に付至急御用命仰付ください
京城日報社代理部　電話光化門四〇〇番　四〇五番

第三回朝鮮美術展覽會 入選者と入選作品
―出願六二五點受鑑査五五五點 入選作品一八一點

第三回朝鮮美術展覽會出品中第二部（西洋畫及彫刻）第三部（書及四君子）の鑑査を終了し入選者も決定したので二十八日午前十一時に右入選者及び入選作品の發表があつた。今其各部に亘る出願點數、受鑑査點數、入選點數及入選者、入選作品を擧ぐれば次の通りである

部名	出願點數	受鑑査點數	入選點數
第二部（西洋畫）	三八〇	三三五	一〇四
第二部（彫刻）	二七	二五	一〇
第三部（書）	一六六	一五九	五二
第三部（四君子）	四二	三六	一五
合計	六一五	五五五	一八一

第二部 西洋畫

命題　作所　雅號氏名
支那町　京城　青木秀雄
花と水滴　京城　淺川伯敎
風景　元山　伊藤景一
朝殺　釜山　今田淸一
水標橋幕宵　京城　伊藤秋畝
卓上靜物　京城　伊藤喜一
大師堂近傍晩春　京城　伊藤喜一
春の光　京城　伊藤武雄
露台から　京城　伊藤武雄
淸溪川の朝　京城　伊藤與之輔
古城の午後　京城　伊藤與之輔
綠光亭　京城　糸井辰三
梨畑　黃海　嬉野保
靜物　京城　小川七五三二
鶴璧日　京城　小川七五三二
早春　京城　大崎貞雄
或る風景　京城　禿惠
靜物　京城　乾勝之進
本を持てる婦人　京城　東海　金昌燮
敎會の裏路　京城　同
支那町の一部　仁川　淸野德二
雪の村　京城　一笑　金觀永
西湖夕照　京城　大倫　姜振九
晩春　京城　春波　金俊燁
朝の靜物　京城　姜信碩
坂道　京城　北浦太郎
靜物　京城　木村信吉
國師堂のほとり　京城　木村信吉
東十字閣　京城　公花　金落変
チウリップ　釜山　蒲田新三郎
蒼昌園　京城　河野野鄕
靜物　京城　古賀敬二
五月の或日　忠南　小林武文
靜物　仁川　兒玉貞平
習作　仁川　小林良藏
新村の秋　京城　高義東
中秋風景　元山　坂口隆作
丘の冬　元山　坂口隆作
或る丘より　京城　佐藤晃治
靜物　仁川　澤田信幸
午後の經學院　京城　新木正之介
金陵里の鐵橋　京城　申永均
森の中　群山　品川信男
多　新義州　接待勝夫
金魚瓶と靜物　京城　孫一峯
初夏の錦江　公州　宋秉敦
春日　晋州　高橋義城
初夏　京城　玉井開藏
支那町　元山　田中時廣
春の光　元山　田中垂子
靜物　元山　田中垂子
雨後の部落　釜山　高岡嘉一郎
海邊の午後　釜山　高岡嘉一郎
栗の花咲く頃　京城　高木章
詩集を持てる女　京城　多田毅三
奬忠壇附近の風景　京城　多田毅三
煮物　釜山　田口操
多の午後　京城　竹澤繁之
初夏　京城　竹澤繁之
雪　京城　角崎秀雄
農家　京城　角崎秀雄
木藍　平壤　田口鳳來
風吹く日　京城　綠波　丁奎益
溫井里附近　京城　德田運雄
丘　京城　德田運雄
妓の靜物　京城　富永光
自畫像　平壤　中垣虎兒郎
支那町　元山　中尾早太
午後の陽　京城　中尾菊太郎
シベリヤノ多　京城　ネリーグラント
ポプラー　京城　野守健
樹　京城　長谷川唯一
洋燈のある靜物　京城　花田得郎
靜物　京城　花田得郎
靜物　京城　早川良雄
風景　京城　日吉守
かろき努れ　京城　奥村直二
讃光　京城　細田鐵造
きりわりの山　京城　前田淸輔
あづま菊とリンゴ　京城　岩堂　朴榮來
多近き朝　釜山　松岡正次
初夏ノ王城　京城　松田武雄
春酣　京城　松田石平
靜物　平壤　光行岡殷
チユウリツプ　新義州　三宅安子
四溫ノ午後　新義州　三宅安子
裸男　京城　三本弘
早春　京城　村上操
蓬萊町　京城　美里物河
午後の陽ざし　仁川　茂木和三郎
自畫肖像　水原　山林[illegible]
金魚とリラ　京城　山下一彦
花と裸女　京城　山田新一
追慕　京城　山田新一
ミガン賣ル男　京城　安井鎭平
靜物　京城　山浦乘樹
川邊　京城　山本舍人
秋ノ庭　京城　吉村陽雄
初夏ノ午前　安　羅蕙錫
追憶　同　羅蕙錫
自畫像　京城　悠然　李鍾禹

以上百四點

彫刻

靜手稻の松　京城　成興　和田正男
新綠の頃　京城　渡邊浩三
或美術家　京城　淺川伯敎
マントノ女　京城　江中三九郎
少女　京城　土屋義雄
T子ノ顔　京城　寺畑助之丞
乳　京城　寺畑助之丞
舞姑　京城　中川忠夫
眠れる少女の顔　京城　中川忽延
少女の顔　京城　花田得郎
S君　京城　花田得郎
考へる人　京城　山田嘉一郎

以上十點

第三部 書

命題　作所　雅號　氏名
唐詩　京城　南燿　安東六郎
般若心經　京城　介石　右本淸四郎
栗谷金剛　海州　海山　尹子庭
山記　海州　海山　尹子庭
歸去來辭　釜山　靈々　井上卯作
草書　京城　臥牛　小原武
汾上驚秋　京城　南山　大石理一
鍾鼎文　京城　南山　大石理一
篆書　京城　默齋　部翰容
楷書　京城　恰軒　片岡辰之助
鄭氏碑頌　京城　岡隱　葛城末治
原人　京城　同
夫子廟　[illegible]
東照宮公遺訓　京城　大邱　徐丙錫
唐詩　全北　不瑕　金永丸
前赤壁賦　京城　守拙　金璟
五言絶句　京城　小翠　岸有律
錄書歸去來辭　京城　大麓　岸田[illegible]
草書　京城　石堂　金圭仁
篆額　京城　紹宵　姜信文
心經　京城　搬雪　工藤武城
七言絶句　京城　梅雪　後藤悦志
鍾鼎文　京城　鶴仙　後藤[illegible]
楷書古詩　京城　梅雪　吳蕃[illegible]
高砂　京城　海林　工藤[illegible]
楷書　京城　千波　椎木與五郎
楷書　全北　念齋　宋泰會
教育勅語　京城　小田　孫在
楷書　京城　步大　玉井安
隷書　京城　星坡　張錫
楷書　京城　彩畝　土居彩
尺牘　京城　彩畝　土居彩
楷書古詩　京城　梁苑　鄭然
唐詩　京城　翔鶴　岡崎勝
隷書　京城　櫻海　德富世
篆書　京城　東湖　南芸允
大正論語　京城　東湖　南芸允
雲碁白碑　京城　白陰　西田朗
楷書　京城　白陰　西田朗
假名　京城　雲岡　裴孝源
行書　釜山　旭堂　平林俊吉
草書　京城　紫雲　藤村[illegible]
文明四海　京城　惠淵　方戊吉
古語　京城　文瀾　朴昌來
　忠南　白居　本多[illegible]

大字　京城　香堂　朴錫垂
唐詩　京城　小洞　松本和夫
孤獨　京城　烏江　八千野元
和樂　京城　竹城　山路右近進
謙書　京城　松隱　李秉直
篆文楹聯　京城　無號　李漢福
紙楷　京城　小松　李正萬

以上五十二點

四君子

菊花　京城　穎雲　金容鎬
蘭　京城　研農　吳容淑
蘭　大邱　雲岡　裴孝源
墨竹　京城　書陽　原頎
墨竹　全州　晋齋　裴錫麟
墨蘭　全州　晋齋　裴錫麟
蘭　京城　桂東　弘申龍次郎
蘭谷君子　京城　惠淵　方戊吉
寒梅　京城　霞堂　朴禹熹
晴蘭　京城　松隱　李秉直
石竹　京城　松隱　李秉直
竹林　京城　迂堂　李南夏
墨竹　京城　迂堂　李南夏
墨蘭　京城　[illegible]
晴林　京城　竹史　李應魯

以上十五點

（以上號外再錄）

昨年よりも非常な進境
朝鮮特殊な味のある作品は見當らない
鑑査を終つて 兩審査員語る

彫塑第二部、三部の鑑査終了は二十七日午前十一時頃に於て發表されたが二部西洋畫は三百三十五點中百四點、彫刻は二十五點中十點、三部書は百五十九點中五十二點、四君子は三十六點中十五點の入選あり各部共約三分の一の割合であつたが第三部審査員田口米舫氏は鑑査後の感想として語る處に依れば昨年の成績から見れば非常な進境で鮮人間にも實力と云ふことが考へられて來た。舊來少な入選者もあり有望だが斯樣な人々が年長すると共に落ちて來るのは遺憾が無いのであるから注意しなければならぬと語つてゐた。尚第二部洋畫部の鑑査員長原孝太郎氏は記者を作品の前に招いて語る『成績は非常によい、又內地と朝鮮とは無論土地も風俗の相違もあるので特殊な味でもあるかと思つたが左樣なものは殆ど發見出來なかつた。風俗の影響を受けて極自然に出來たと云ふ樣な作品が少く多くは外國の影響を受けてゐるので此處にも東洋が西洋に及ばぬと云ふ憾があるのである。もつと鮮に成つて畫家は風俗の味を研究せしめなければならぬと思ふ』

けさ入城したメルラン總督
（上）廿七日午後釜山棧橋上陸の一行（下）廿八日朝京城驛頭＝寫眞右からクローデル駐日佛大使、齋藤總督、メルラン總督同夫人

豐頰に笑を湛へて メルラン總督けさ入城
齋藤總督と幾度か固い握手
その朝 驛頭の國際的情景

重要な使命を帶びた佛領印度總督マーシャル・メルラン一行は二十八日午前七時四十分着にて京城驛に着いたこの朝初夏の日射し爽かに京城驛頭には齋藤總督を始め丸山警務局長、長野學務局長、西村殖産局長、時實京畿道知事、有賀京城府尹、渡邊商業會議所會頭、各國領事など多數出迎へた、定刻七時四十五分列車は黑煙を吐いて構內に滑る一等車から釜山に出迎へた總督府通譯が先づ出て來ると、駐日佛國大使クローデル氏は瀟洒な姿を見せて續いてメルラン總督、その夫人、令息アンドレイ、政治部長シャブロウ、官房長シャワテル等一行八人が降車する、メルラン總督はクローデル大使の紹介に依つて晴れやかな笑を見せて齋藤總督と幾度か固い握手する、佛領印度總督と朝鮮總督の握手、實に晴れやかな國際的情景である、總督は瀟洒なる禮裝で半圓形にとりまいた出迎へ人に一々會釋し齋藤總督と談笑しながら露臺を渡り、待寶結のレンズの前に立ち、此處で總督府參事官の紹介で出迎への總督府各部局長、官民の主なるものに握手し、七時五十分列車總督の自働車でホテルに向つた

は續いて[illegible]が並つて居た〜隣の黑い冠を手にとり隣に遜か乍ら見て是は[illegible]のシルクハツトに[illegible]一同大笑ひになつた、愛息アンドレー君に至つては今度西洋の十二歲になるから日本流では十三歲で夫人の[illegible]に出迎へ[illegible]決して靜かにしては居なかつた。

第二世メルラン君として還し[illegible]や其他を訪問したがホテルでも[illegible]に備するだらう

活動寫眞撮影

朝鮮總督府活動寫眞班ではメルラン總督の入城を記念すべく同總督の入城の光景をフヰルムに納めた

廿八日の動靜

ホテルに這入つたメルラン總督一行は午前八時朝餐を攝り、後總督官邸に齋藤總督を訪問し、その途路昌慶苑南門や佛國總領事館を訪問し午後零時、京城府尹商業會議所會頭主催に係る朝鮮ホテルの官民合同歡迎午餐會に列席し、午後二時總督府博物館を參觀し午後七時龍山總督官邸に於ける齋藤總督主催の晩餐會に臨んだ

彼の鳥に鹿が居ますか……
總督夫人奇問の一つ 愛息は大の茶目
牧の鳥を指して

メルラン總督は今度の日本訪問に夫人と愛息アンドレー君を同行して來たが夫人もアンドレー君も共に流石に大政治家の夫人たり愛息たるに恥ぢぬ巧妙な外交振りを到處に發揮して歡迎の人々の目を丸くさせて居る　二十七日夕六時釜山に上陸した總督一行は直に七臺の自働車を連ねて釜山市中を一巡し龍頭山に上つて風光を賞したが夫人は牧の鳥を指し彼の鳥には鹿が居ますかと奇問一發、接待役の松岡外務省事務官も急に返事が出來ず夫人[illegible]

時計を盜む

府內竹添町二六四吳永俊（二二）住所不定車榮春（二三）の兩名は十九日午前三時頃府內漢岸洞一一七の四田口最次郞方で懷時計一個を竊取せし外二回竊盜をなし鍾路署から廿八日檢事局へ送られた

米飛行將校へ有功賞

米國飛行將校スミス中尉以下は二十五日午後三時久邇宮邸に招かれ優渥なお言葉を賜り有功賞を授與された

御成婚記念 養老院
長谷川町に建てる

民間有志高橋章之助松氏は御成婚記念事業として府內長谷川町七十九番地の百三十坪の地所に一萬圓を投じて養老院を設立し身寄りの老人救護を計ることになり二十八日本町署に其の願書を提出したが內容は一般有志の寄附金に依り基金を作り慈善會員を募集し普通會員は十錢特別會員は三十錢名譽會員は五十錢を每月納附することになつてゐる

英飛行機 カルカツタへ

英國世界一周飛行家マクラレン少佐の飛行機はビルマのアキャブ沖で大破した爲め米國驅逐艦フオード號は同館に備へてあつた英國豫備機を載せ二十八日早朝香港に向つた同地にて更に他の米國驅逐艦に積替カルカツタに急行する筈（東京電報）

佛機出發遲延理由
盧氏の飛行機を借つた爲 齊氏の反感を買つた

目下上海に滯在中の佛國飛行家ドアジー大尉の出發期日は未だ確定してゐないが二十六日江蘇の齊燮元氏は上海の佛國總領事に對し突然、若しアジー大尉の飛行機が南京又は其他へ着陸するならば直に沒收すると通牒を發した、這はドアジー大尉が盧永祥氏の飛行機を借りたるに對し齊氏の反感を買つた爲で之れが爲め出發が遲れたものらしい（上海廿八日發電）

首相相手に珍裁判
田舍の村長さんから

廿七日正午前行政裁判所法廷で首相淸浦奎吾を相手取り奈良縣吉野郡川上村大字上多古川上村長が四代かゝりで二十年も訴訟してゐると云ふ長い珍裁判が開かれた　事件の內容は吉野郡天川村大字洞川の現在有林九百五十町步は正德年間前から銀八匁の年貢を上多古村で納め維新後は官永錢百三十三文を納め後山稅十三錢三厘を納めてゐたので同山林は上多古村の民有林と思つてゐた所明治七年境界整理の際奈良縣廳の手で洞川官有林になつてゐる所が發見され村民は時の村長楠木氏松氏を代表者として明治三十七年十月時の臨時鐵道監部に提告として行政裁判所に訴へ出たのである當日は其の何回目かの裁判で原告は古い繪圖を振廻して大分有利に見へ夕刻延期したが後何年かゝるのか判らんと

東宮同妃兩殿下 御一緒の御寫眞
御立派に出來上る

東宮殿下が御結婚後始めて妃殿下と御一緒に宮中紅葉の間の御寫眞殿で御撮りになつた御寫眞は愈々出來上がり二十七日午後二時內匠寮伊藤寫眞掛務官から兩殿下に御覽に供したこの御寫眞は東宮殿下はモーニングコート、妃殿下は壯麗な洋裝で御肩を並べて御たちになつた如何にも御睦まじき御姿である、東宮殿下には御自ら此の寫眞に御名を記されて殿下の御友人である英國皇太子殿下へ御送りになるべく御決定になつた（東京電報）

三十餘名の賊徒と警官隊の衝突

二十四日午後平北楚山郡[illegible]から侵入した三[illegible]時平北道警察部が試みたる遊擊隊の分隊である高島巡查外五名の一行、此の高島、宇野兩巡查は敵の爲め重傷を負ひ[illegible]

巡回敎育博
乘車券二割引

便宜のため乘車賃を[illegible]各驛には各種[illegible]と聞えがため各驛の便を計り[illegible]

基金を積んで 猛烈な廢娼運動
廢娼は婦人ホームへ收容 各敎會員の眞劍な活動

京城の基督教團が掲げた公娼廢止問題の狼火は丁度線香花火のやうにパッとついてスウと消えたまゝ又元の闇に返つたやうであるが事實は決して此の問題を抛棄したのではなく寄々委員會を開いて其の方法を研究して居たのである　右について丹羽青年會總務は語る『二十七日午後四時から青年會館に內地人、鮮人、外國人側各敎會の代表者に婦人矯風會、基督教團體の代表者も加はり廢娼問題について協議を凝らした結果公娼廢止の基督敎徒及び其他贊成者の署名を得て齋藤總督に請願することに決定した、外國人側も非常に熱心で寄附も各敎會から五六千圓の基金を作り婦人ホームをつくつて廢娼を收容しやうとの意見もあつた』

本町の怪火
放火の疑がある

府內本町五ノ三六菓物商山口邦彥方物置きから二十八日午前二時十分頃發火し同家の[illegible]に燃え上がらうとして居る所を家人が發見し消火に力めた結果同十五分大事に至らず鎭火した、原因は放火の疑ひ十分である爲め本町署では同朝檢事局佐藤司法主任及び坂田刑事等現場に臨檢し實地調查の上嚴重に犯人の探偵を開始した

新町遊廓の時間制度
表面は値下げで 態の好い値上げ

東新町遊廓では六月一日から一時間一圓六十錢の遊興稼代を一圓四十錢に値下げする事になつたが是と同時に新町遊廓では新に時間制度を設け第一時間は一時間一圓五十錢、二時間目は一圓增し、三時間目から一時間每に五十錢增し夜間は一時間二圓で二時間目からは遊時間と決定し既に其筋の許可を得たそれについて組合側では『この試みは社會政策を加味したもので金のない人々に取つては無上の福音でしよう、其の代り流連けしたりする惡風には高くなりますが兎角心中とか勘定の踏倒しとか云つたやうな事故は流連けの場合に起ることが多いので時間制度にすると多少これ等の事故を防止することが出來るだらう』と說明を弄して居る、遊廓側が一人でも多く客を吸收しようとする皮肉な世相ではないか、因に火が揚がる一方では遊廓側の時間制度開始は態の好い値上げたと云ふものもある

千圓の指環を 盜んで捕はる

京城府[illegible]高陽郡漢芝面新堂里金聖學（二）の兩名は去る三月二十三日府內鍾路四丁目鐵物商內金鎭錫工八木方で金指環七個、プラチナ指環一個（價格千圓）を竊取逃亡したことが此程東大門署に發覺檢擧され取調べの上廿八日何れも檢事局へ送られた

梅蘭芳の『英雄の戀』
帝劇で上場

梅蘭芳の一行は三十餘名で帝劇に上場するのは『英雄の戀』で[illegible]を英雄が美の天使に擬する豫定である（北京電報）

銀貨僞造
犯人二名檢擧

忠北淸州郡江西面池東里一番地李正齊（三七）府內黃金町五の二二九番地飲食店李次容（三五）の兩名は共謀して去る十三日忠北淸州郡江外面[illegible]李見承方で五十錢銀貨僞造を協議し細砂を以て型を造り之に錫を流し込み五十錢銀貨十二個を僞造し[illegible]僞造中を鍾路署に檢擧され廿八日檢事局へ送られた

龍山の餘興
各町々の催し

龍山榮町にては町內三ケ所に綠門を建て平田氏方にて假友禪中の坊生花會を開催する事になり同元町二丁目に於ては義太夫稽古會等を四日間通じて開催し漢江通りの五區では龍山郵便局前に小屋掛をなし素人演藝者手踊をなす外假裝行列にて町內を練行する由

乘つて歸る船がなく 花嫁が棧橋で泣く
狂氣の如く便船を待つ 歸朝中の在米邦人

（橫濱電報）目下橫濱には歸朝中の在米邦人の群れが多數便船を待つてゐるが十數艘の船舶に積在してゐる之等千五百餘名は狂氣の樣に品望してゐる殊にこの二十八日に出帆する天洋丸で四百五十名が橫濱から乘船する筈であつたが支那神戶方面で外人を乘せ過ぎた爲め斷られたので憤慨したり悲觀したり大騷ぎをしてゐる中でも今度初めて渡米する三十四名の花嫁が夫の腕に取り縋つて泣いてゐるのは氣の毒であるが當局も氣の毒とは思ひつゝも施し樣がないと閉口してゐる

運動界
本社軍勝つ
23A對21 朝新軍敗る

朝鮮新聞社對本社の野球試合は二十七日午後四時半から滿鐵グラウンドに於て擧行した。當日は兩社初めての對戰であるから兩軍應援團を繰り出し國民兵級の選手まで驅り集めて出陣松島（球審）平木（壘審）兩氏審判の下に朝新先攻で試合を開始し五回までは十對十で進み七回までに朝新二點を勝ち越して稍優勢に見えたが、七回裏に於て本社軍猛襲して一擧八點を奪つて形勢逆轉、第八回表に於て朝新猛起して五點を挽回して同點となり勝敗の數逆睹し難きものあつたが、その裏で本社軍又復五點を加へて大勢決し朝新軍最後の攻擊に依つて三點を返したが遂に及ばず二十三A對二十一のスコーアを以て朝新軍惜敗した。試合後兩軍戰士及應援團は四海樓に於て交歡して引揚げたが當日の試合は兩軍懸命の奮鬪で應援團も觀衆も大喜びの面白い試合であつた。兩軍の陣容左の如し

新朝　森野　村松　崎久　澤松　松伊　藤原　河野　永
捕　二　游　投　三　右　中　左
京日　本永　西井　李島　寺田　吉津　大光　多田
投　遊　一　捕　三　中　左　右　二

奉祝競技大會 應援團の注意

三十一日、一日兩日訓練院グラウンドに於て擧行するオリムピック大會に就て主催者朝鮮體育協會では左記の通り應援團規定を設けた
一、應援團は必ず責任ある代表者を定め競技開始前に其の氏名を本大會事務に通告すること
一、應援團は定められたる席以外にての應援は之を禁す
一、應援は拍手、應援歌（俗謠調の應援歌を禁ず）を程度し野卑なる評語、罵詈に類する個人の發言は勿論、太鼓、鐵力鐘、メガホン等の喧騷に渉るものゝ使用を嚴禁す
一、通告員の公示ある際は如何なる場合と雖も之が妨げとなる行動を禁す
一、選手スタートラインに集りし際は靜肅にしスターターの合圖を妨げざるやう注意すべし

笑はぬ子供にパツク

初音町に 居直り强盜
時計一個を奪ふ

二十八日午前一時二十分頃府內初音町二〇四[illegible]山林課技手水田武彥方留守宅に[illegible]寢臺に就眠中[illegible]鮮人男が忍び入り枕許の懷中時計（價格十圓）を竊取して去らうとする氣配に眼を醒ました妻女が『泥棒』と大聲に呼ぶと曲者は狼狽しながら女と見て侮り其場に居直り强盜に變じ騷ぐと承知せぬぞと一喝して妻女がすくみ上がる隙に該時計を奪つて悠々と立去つた。急報に依り本町署では直に犯人の搜查に着手し目下嚴搜中である

逃げた人妻が 娼妓になつた

京畿道水原郡三洞七六趙明利は昨年七月頃高陽郡恩平面佛光洞里六四生れの鄭聖行（二九）と言ふ鮮人の女を千二百圓で娼妓から落籍し內緣の妻として同棲中先月女は一寸實家に歸つて來るからと夫の許しを得て家を出た儘歸宅せないので[illegible]女の行方を搜查の結果[illegible]娼妓になつて居るのを突止めたので今回同署に告訴した

僞造支那紙幣

西大門署では二三日來秘密裡に[illegible]刑事等は[illegible]事件は數日前府內公平洞六十九番地飲食店鄭相玉方に一人の鮮人が來り十圓餘の遊興し百圓の支那紙幣を出し釣錢をとつて立去つたがそれは奉天省銀行發行の僞物であることが判明したので主人は直に被害屆出でたものである僞造紙幣は頗る巧妙なものである同署では犯人は數名の共犯者あることを知り[illegible]

土地を種に

府內黃金町[illegible]兩名は共謀して府有土地を賣渡すと詐稱し[illegible]から五百圓を騙取して[illegible]のみは鍾路署へ檢擧された

黃學

二十三日から一週間 夜間興行に限り有効 京城[illegible]

鴨江鐵橋架換問題にならず
複線にする程の必要は無い　人道橋を設ける程の必要も無い

【安東縣】鴨綠江鐵橋の架換問題は鮮滿及び京城方面で問題視されて居て地場の安東では何等議論されない奇現象を呈してゐるが安東鐵道事務所當局では鴨綠江鐵橋架換問題は今日に始まつたことでは無いが之れは滿洲線と朝鮮線…京奉、安奉兩線が複線となつた曉に於て初めて問題となるべきで現在では線路を架換へて複線となすべき程の必要に迫まられてゐない。又人道橋を別に設ける事も必要ではあらうが何しろ經費約八百萬圓を要するが故に他に緊要な事業多き今日鐵橋架換どころではない、安東驛移轉に伴ふ鐵橋の位置如何なども問題とされて居らぬ。鐵橋のみの複線を論ずる如きは一顧に値せず驛移轉問題も目下安東市に於て都市計畫上現在の鐵軌入換ヤードは新市街と六道溝との連絡を妨害し市發展上ヤードの移轉を要するとするも夫れが爲め鐵橋の架換を要することは無い、只安奉兩都市を連絡する人道橋としての價値よりして現在の鐵道は荷車を通行せしめ得ない爲に新に人道橋の架設を要するものなきに非ざりしも現在の如く八百萬圓を要するが故に不急の事業に此巨費を投ずるの不經濟なるを知るが故に之れが擴大して問題視されず結局架換問題は商に緊急事として安東の一部が唱へるは十數年後のことであらう。

者の士氣を鼓舞したる向は兩者と冷氣との爲めに發育を阻害ならしめ經過良好ならざる如きも溫況飼育をなせる者は適度の掃溫掃濕をなし得て發育の發育は概ね健全なる好經過にて今後甚だしき變化無き限り大體平作の見込なり然し本年度收繭豫想は二萬五千石內外なるべしと

咸南畜牛賣買狀況

【咸興】咸鏡南道に於ける昨年中の畜牛賣買狀況は牡牛二萬三千三百二頭牝牛一萬六百五十六頭總計二萬五千六百三十二頭にして前年に比し牡四千七十三頭を減少し牝九百八十八頭を增加した而して其の減少せる重なる原因は一般の不況につれ農家經濟も逼塞したると畜牛價格低落せる爲め農民の手放さなりしによる畜牛賣買價格は農繁期に向ふ三月頃最高價格を出し牡二百十圓牝百九十圓內外に入るや九月頃は最も安く牡十八圓牝十三圓に下りしこともある而してその總價格は百三十七萬四千八百二十圓で前年より四十四萬九千七百八十三圓を減少した

忠北官吏異動

【清州】豫て大更迭の噂があつた忠清北道の官吏異動は左の如く發表された

任命		前任地
地方課長	山本幸四郎	忠州庶務
土木課長	古川靜夫	永同庶務
勸業課長	池田正人	會計課長
會計課長	磯矢耕太郎	會計係
農務課長	西岡芳次郎	勸業兼地方課
保安課長	韓定錫	保安課
忠州庶務	小柳英雅	保安課長
永同同上	椎名已之助	清州署長
清州同上	烏澤盛	道地方課
丹陽同上	水野精二郎	清州郡庶務
鎭川同上	秋山文雄	道土木課
清州署長	石野厚	槐山署長
槐山署長	柴原茂	陰城署長
陰城署長	松林茂啓	道警務部

元土木課長大野久は土木に農務課長小島幹晋は農務に技師として勤務する事となつた尙其他にも二三の異動はあるやうだが不日發表さるゝ筈

新義州學組會議

【新義州】廿六日午後新義州學校組合會は府廳樓上に開催各原案は何れも可決したが其主なるものは新義州尋常高等小學校舍の一部を改築し新義州幼稚園に貸與の件、一千五百圓にて組合所有地本町一番地に約百坪の兒童寄宿舍建設の件、小學校々舍新築に要する財源捻出の方法即ち組合所有地中から六萬四千圓に相當する面積を賣却するの件等である

奉祝大音樂會　新義州

新義州學校組合では東宮御成婚御披露宴を祝賀の爲め六月三日夜公會堂に於て內鮮合同の奉祝大音樂會を開催する事に協議纏まり目下プログラムを作成中であるが出演者は日鮮の別なく大に歡迎する由にて府學務主任田中威信氏が主となつて奔走してゐる（新義州）

桑の發芽良好

【咸興】咸鏡南道に於ける桑の發芽狀況は南鮮に比し多少の遲延は免れざるも本年は例年に比し兩三日遲れたるのみにて概ね發芽殆ど平均し發育甚だ良好である然し本道は目下三齡中なるが北部は遲れて未だ掃立を了する迄には至らず發育狀況之れ又良成績である而して本年掃立枚數は三萬六千枚で前年に比し四千五百枚を增加し收繭豫想高一萬四千石位である

全南春蠶狀況

【光州】本道內各地春蠶掃立總枚數は三萬六千枚にて昨年に比し四千五百枚の增加にて五月一日より遲きは五月十日頃の掃立にて目下二眠乃至三眠中なり本年は降雨適度にて桑葉よく繁茂し得るが多少の遲延はあるも繭の發育狀態にありて內地人蠶業

元山灣鯛漁季に入る
一箇年の漁獲高約五萬圓か

【元山】北鮮名物の一に數へられてゐる元山灣の鯛漁業は毎年五月中旬から漁獲時季に入り下旬から六月上旬が最盛期であるが今年は潮流の關係か鯛漁業の時期が多少遲れたので鯛も昨今漸く獲れ出した樣である、今日此頃の鯛の水揚高は多い時で二三百尾位のものだが六月上旬頃から段々多くなり中旬頃が全盛期となる見込みだ。◇昨年の五月中の水揚高は二萬二千餘尾價格一萬五千圓であつたが鯛の漁期は五、六兩月に亘つてゐるので同漁期の總水揚高は約四萬圓であつた、今年は未だ初期なので其漁獲高を豫想する事は出來ぬが相場は昨今十錢目十五、六錢を往來し昨年に比べると稍高いので漁獲高が昨年と同じ位と見ても總高はズット多くなる譯だ、今の處では天候も順調であり漁獲高も漸增を示してゐるので或は昨年以上の好成績を上得るかも知れない◇一と口に元山鯛と云つても漁業區域は元山灣內から江原道沿岸一帶に亘つてゐるので其漁場は仲々に廣い、灣內では麗島其他の各所に漁場があるが重に水產會社の手で行つてゐる、今年は季節遲れの關係で鯛が未だ獲られてゐる。今日此頃の魚市場は鰆の山を築く位に全盛を極めてゐるが鰆の外に鯡、サヨリなども澤山獲れる、元山地方は五月から六、七月頃にかけて四季の魚類が一時に集まると云つてよい程多種多樣の魚が獲れるのである。◇元山鯛は多く氷詰として他地方に移出するが何分漁獲の季節が暑い時分であるから除り遠方の需要に應ずる事は六ケしい、京城以北主として京城、仁川、平壤邊りに移出してゐるが他の乾燥魚の如く遠い滿洲及び內地に移出して居らぬ、尤も日本各地でも元山産鯛の移入を企劃してゐる向きもあるが貯藏の方法が不完全なので鯛は氷詰め以外に今の處輸送方法が無いやうであるが最近杉山組の罐詰事業が開始されたので鯛を罐詰として移出すれば遠隔地方の需要を喚起する事となるであらう。

長水郡廳移轉引留運動
民衆學校に押寄せ　死力を盡して努力する事を決議す

【長水】全羅北道長水郡廳を現在の長水郡邑內より同郡長溪に移轉の運動を試みたる長溪民の行動に對抗して長水民は引留運動を開始したが二十五日に至るや長水郡の內長水面蟠岩面山西面の三面民は續々集まり來り午前九時には無慮三千人を算した長水普通學校の會館及少年會館は市內各所に長水の死活問題と大書したる宣傳ビラを貼附し二千枚の宣傳ビラを配布し長水郡民は奮起せよ民衆大會と大書したる赤旗を振翳し音樂隊を先頭にして集會午前十時三十分會長柳鎭氏開會の辭を述べ張原卿八郎氏代つて挨拶あり高準植氏柳淳欽氏張玩植氏の悲痛なる演說あり聽衆は益々熱狂し此時三千人一度に郡廳に押し寄せよと動搖めき初めたが此時執行委員を選定し左記決議を爲した上道委員を選んで上道せしめた

一、各自は目的を達する迄死力を盡して努力する事

二、代表執行委員を十五名選定する事

三、執行委員の中より上道委員を選定上道せしむる事

四、郡廳引留運動の一策として郡員家屋を二十戸建設の件

五、長水より天川面を通過する全長道路改修の件

六、長水より任實郡契面に通ずる道路を改修する事

七、長水市街を整備するの件

八、之に要する費用は各面民負擔の事

九、引留結果を見る迄は必死の努力を以て此大會を繼續解散せず

執行委員選定後上道委員は安寧鎭、韓原卿八郎、柳鎭、張安欽、張玩植氏等六名と決定上道の爲め午後五時出發した

釀造品々評會
今々開催に決定

平壤府に於ては曩に道主催の朝鮮工業品共進會が取止めとなつたに就ては昨年の水害に次いで京都大震災の餘波を受け疲弊困憊に陷りしめた

全北名勝地廻り（五）
本多博士に隨行して
全州支局　西本生

內藏山

井邑から二里餘りなりにも自動車が通ふこの內藏山は紅葉の名勝地として名が高い秋は滿山紅葉して火と燃ゆる光景は實に壯觀である。井邑市民はこの內藏山を廣く天下に紹介して土地の繁榮を圖ることに不斷の努力を續けて居る我一行が內藏山に着いたのは十二時が過ぎた頃であつた。一行は井邑有志に案内されて周圍の奇勝絕景に目を醒めながら鑑賞、此處で豫て佐藤氏が用意してゐた白米を取出して本多先生の膳を結えて引上ると先生平地でも行くかの樣に四方八方を打眺め一々林相の講義が始まる。この山は由來單調な松林の多い朝鮮の山と多少趣きが異にして居るワイ、少しは第二期の林相であると講釋が始まる。續いてのことに寺院に就た、此山に遊ぶ者は何人もこの寺に腰を卸す乃至宿泊する唯一の旅館である、先づ中食をすることにした寺から出された鑛水が其處に並べられ井邑有志の志しである果物や菓子などがズラリと並べられたのは好いが蠅の猛襲しく何時の間に平らげたものか器物、食物は干黑色に變じたこの有樣を打眺めた知事閣下全く顏色無しの體で有名な從來全北の名勝として誇り得る名勝地としての施設をし天下に紹介せんとするに當り而も美化研究の今回の行に於て此の處は一般の說明する處によると目下寺院の改築中であるため多數の鮮人大工又は人夫が入込んであるので一般に繁殖したのだと苦しい言譯だつたが日頃居ない蠅が當日に限つて發生したことは全く當事者の人には氣の毒な感もした。

さて國士の窟として一度通つた道は再び通ることの大嫌いである事を知つてゐる知事さんはこの山を登つて難なる大鑑岬に通ふ道なきやと云ひ出した處で守山氏の案内で一行は光蘭軒で小點心を攝りに來た節案內役の山の絕景には相當通じて居るので私と守山さんは先頭を承はつて進む程に珍しい樹木が林立して居る、遙か彼方には奇岩の嶺々と聳え立つて居り、溪谷の巖頭は蒼茫として溪谷に轟るも凄しく、秘境の滝の咲きかゝるも亦風情がある。暫て一本の樹の木を見出した博士は非常に珍しげに之れは大したものだこの木は恐らく第一期の林相で往古の森林は總て此種の林相であつた、然なぞは高い岩の上なぞに僅に生きてゐたに過ぎないで繁殖する餘地がなかつた、夫れが段々人間に依つて伐られたり火を放たれたりして第一期林相は悉く亡びて比較的火に强かつたのが根から芽を吹いて成長し第二期の林相となつた夫れから又段々第二期も亡びて今や第三期即ち松の時代になつて來たのであると專門的に說明あり、行く程に今度は椰の林に出た。

大田支局主催　南鮮庭球大會
六月八日開催に決定す

【大田】本社大田支局主催の南鮮庭球大會は六月八日（第二日曜）午前九時より大田驛前滿鐵コート及び朝鮮興業コートに於て開催する事に決定した

參加區域は京城以南、申込所は京城日報大田支局、會費は金一圓（辨當を呈す）使用ボールは角一

慶北の優良部落

【大邱】慶北盈德郡丑山面丑山洞は山間の一小部落であるが耕地面積が甚だ少い爲め住民は盈德市場に薪を運搬する事を唯一の副業として生活上あまり捗々しくはなかつたが、大正五年頃當局の指導により住民は各戸に繩叭の製造販賣を獎勵して生活の安定を圖る事となり現在では額五千圓の參額に達する樣になつて農村振興上から見ても他郡の範となるべきものであらうと信じられて居る近く何等かの方法を以て此の部落は表彰せらるゝであらう

春季射擊大會
江原道警察部

【春川】江原道警察部では二十五日午前九時より道警察射擊場に於て兒玉部長以下百十名參加の上全部長も加へ春季射擊大會を催したが同部長も範を見せ昨年の三十點以上十五名であつた處本年は四十三點（五發）九名に比し三十點以上へ本社メダルを交付した

四三點和田　三九點北島　三九點元　三八點松藤　三八點德永　三三點富　三四點津川　三三點內藤　三三點伊川　三三點金大

水原の撞球大會
盛況を極めた　本社の優勝カップは模範場へ

【水原】水原の撞球界は近來一段の進步を來し殊に今回は本社寄贈の優勝カップ爭奪戰第一回戰とあつて各自猛練習中であつたが二十五日午前十時より模範場撞球俱樂部に於て盛大に開催した、岡本勝士は一同を代表して開會の辭に次いで開戰を宣するや模範場、遊鐵、華城の各俱樂部より一粒選りの高級選手六名宛を出場せしめ岡本、中尾、島谷、李氏等の高段者を殊勝として猛烈に戰つた、當日は爭奪戰だけに初めから未だ嘗て見ざる緊張振りであつたが第一回の決戰に於て東山俱樂部の鄕林選手は單身よく奮鬪して遂に華城俱樂部の選手三名を倒してより一層勇氣を增し選手當に滿ち次第に白熱化して各自妙技を振ひつゝ有つたが午後七時喫飯後直に呼吸つく暇も無き猛虎の戰ひは繼續された結果大に望みを託しつゝあつた模範場俱樂部も惜しくも敗を取り午後十時半頃の大勢を得た模範場俱樂部の優勝に目ざましかつた。茲に優勝一等模範場、二等遊鐵、三等東山と云ふ記錄を殘して午後十一時盛會裡に閉會した當日一同の期待して居た高段者の山田氏、藤本醫官、峯本檢事等の出場を見なかつたのは誠に遺憾であつた。

（寫眞は本社の優勝カップ）

光州副面長決定

久しく銓衡中なりし光州面副面長は今回

价川まで
鑛業の振不振は价川の發展を左右す
平壤支局　平田生

二十三日午前九時平壤にて价川に向つた出る時はさほどでもなかつたが新安州にて私鐵の价川線に乘替へる頃から怪しくなつて來て价川驛に下車すると間もなく驟雨に襲はれた驛員の話によると一般農民は長いこと降雨がないので農耕期が遲れ發芽せず農民擧つて雨を待てる折柄なればこの雨は金玉よりも貴い賜物であると農民の喜ぶ事一方でないと此の价川は西鮮に在る鮮稀の地名にして

鑛業の振興は平安南道の北部奧地の要衝部に位して物資の集散地として重要なる土地で又江界に通ずる要路に當り…

清州より

◇此頃清州に於ける飛躍運動の活動は實は騷々しいもので何か大事件でも起つたのではないかと市民は目を皷ばだてたが一體其んなに人心を動搖さす程の事件は何であつたか

◇然るに其反面には清州では容易に人の風紀を紊亂する樣な飲食店がある相な本人は神の外知るまいと思つて居るが清州警察が夫から次へ次へと糺明で發覺せぬものはないとこそ鮮等の或る分子に對し嚴重に取締つたらよからうと思ふがサテ

◇清州は由來平和な土地で官民間も內鮮人間も能く融合して居たが近頃邊獨は毛も角突きに於ては相互の融和を破ぎ意志が疏隔して來たのは一體どうした事か其善因は頗る明白だが言はぬ方が花かも知れぬ其內に何とかなるであらうと心ある人々は解決を期待するやうに云つて居た

清津普校上棟式

清津普通學校の新築工事は其後著々進捗するが此の二十九日を以て官民學校關係者を招き上棟式を擧行すると（清津）

衞生活動寫眞

傳染病流行の時期となるので之れが豫防宣傳の目的を以て忠清北道警察部では衞生思想普及の爲め大田郡に於て左記に依り擧行すると

六月七日（大田）八日（山內面）九日（新灘津）十一日（懷德）

煙草耕作組合會

大邱煙草耕作組合の評議員會を二十六日同總會を二十七日開會大正十三年度の事業報告及び大正十二年度の事業打合せ會を開きた（大邱）

穀物商打合會

大邱穀物組合にては來る六月八日金泉、尙州、若木、倭館、慶山、清道、河陽、永川、慶州、浦項、盈德、及び尙州の米豆穀商を招き取引改善及米生産改良に關する打合せ會を開くべしと（大邱）

矯風會支部發會式

【大田】婦人同樂會長、婦人矯風會長、城の夫子女史は今回大田支部設置の爲め來田二十九日午後二時よりメソジスト教會にて發會式を擧行の筈であるが同女史は更に同會の主催にて講演會開催の事に決した（大田）

金融組合に助けられた男
今は安樂の生活に！

【平壤】金融組合を利用して發展の遂げた者が多々あるが其の一つに平安南道陽德郡九龍面上晉水里の尹永禧といふ男がある。彼は先祖から貧窮な農民にして其日其日の勞働に依つて辛くも生計を營んで居たが、時恰も大正八年の災害に遭ひ家計愈々困難となり終には餓死せんとするに至つたので止むなく先祖傳來の田二日耕を金百圓で同里の李某に四ケ年の內には買戻す契約の下に賣却して一時の糊口を凌んだ、然るに土地は何日の間にか高騰し嘗ては百圓で手放したものが二三年の內に五百圓の呼値にさへなつたが尹の家計は一向思はしくなく到底手離した田を買戻す資力などが出へられやう筈もなかつた。偶々大正十一年十二月陽德郡九龍金融組合の職員が該里へ出張し組合の趣旨の宣傳を行ひ尹も其說明に居合せたため直ちに組合に加入して友人二人を保證人として金百圓を借り入れ四年前に手離した田を買戻して爾來粉骨碎身して農業に勵み傍ら養鷄などの副業を經營し漸次資産を增加し今日では牛も買求め七八百圓の不動産の外何不足なく暮してゐるさうで本人は一重に金融組合の御蔭だと深く組合に感謝してゐるさうである

海軍紀念日
寺洞終日賑ふ

【平壤】二十七日は海軍紀念日に相當するので海軍燃料鑛業所は所長松原大佐の名を以て平壤在住の各方面の人々九十名を招待午前十一時より大同江の勝景を一望に集むる鑛業所の高地に於て爽なる祝宴を開いた、これより先き鑛業所員は一年一日の樂しみを恣にしやうと造り物をこさへたり運動會、相撲、活動寫眞等各種の計畫を樹て各方面に趣向が湧き上がる、所內には旅順港夜襲の模型やら、海軍の戰艦戰等陳列され一般海軍の威力を偲ばしめる、活動寫眞が終つてから祝宴開始、松原大佐の挨拶、米田知事の謝辭あつて各自祝盃を擧げ宮館府尹の發聲で海軍萬歲を唱和し午後一時散宴したが祝宴中疾風生じ大同江には波が高く騷つて當年の戰況『この日天氣晴朗なるも波高し』を髣髴せしめた。夜は二輪加芝居等の催しあり終日賑はつた

雌雄鑑別講習會
片倉

慶北組大邱製絲場養蠶部に於ては三日間製絲取締所の斡旋により廿五日より三日間蠶業取締所に於て蠶兒雌雄鑑別講習會を開催したが第一日は清水道技手の講習上の注意矢澤同製絲所長の技術上の講話あり直に講習を開始したが講習生百

地方集會

▲磯野部長送別會（新義州）平北道內務部員八十餘名は廿六日午後五時から公會堂に於て忠北に去る磯野內務部長の爲め盛大なる送別宴を催した

▲東拓招宴（新義州）新任東拓平壤支店長佐々木久松氏は新義州出張所管內に於ける官民有力者を廿六日夜綠新館に招待披露宴を催し席上三島出張所長の紹介で一場の挨拶をなしたのに對し磯谷府尹の謝辭あり出席者六十餘名盛會であつた

地方人事

▲大塚內務局長　東上の途次二十六日朝大邱下車ゴルフ場を視察同日午後急行にて東上（大邱）

▲車田慶北財務部長　二十八日午後五時十五分家族同伴着任（大邱）

▲渡邊忠南財務部長　大田郡事務視察の爲め二十七日來田（大田）

▲中村仁川稅關監視課長　二十七日來田（大田）

▲磯野千太郎氏（忠北內部部長）廿七日午後七時發汽車で家族同伴赴任見送多數（新義州）

▲佐々木久松氏（東拓平壤支店長）廿六日來新三島新義州出張所長の案內で安奉間有力者へ著任挨拶をなし廿八日歸壤（新義州）

▲田中朗雄氏（同金融主任）同上

▲松岡滿鐵理事　メルラン總督一行歡迎の爲め二十九日來安の筈（安東縣）

▲中根龍氏（大邱專賣局庶務課長）病氣一時危篤を報ぜられしも稍輕快（大邱）

恐るべき　おりものの害

子宮病とは、帶下と子宮病とは、密接に相關聯する者で有ますが特に此おりもの〻恐るべき所以は第一に女子の大切なる姙娠を妨げて、不姙の原因となる事であります。詳しく申せば子宮の疾患、疾患よりくるおりものは姙娠の根本を絕つ事となるのです、よしや偶に胚胎んでも流産、早産、難産を來たす事になり升。おりものが婦人の身を蝕する事は實にこれのみではない、永い間おりものが續くと體內の血液を消耗して爲に貧血を起し、氣力衰し顏色青ざめ呼吸困難、心悸亢進、手足疲れ、肩凝り、欠伸、根氣薄く、頭痛、眩暈、胸つかえ、胃弱、食慾不振など、かはるがはる其の身を

ヒステリー血の道はどうしたら治るか

子宮病の特徵は如何に、何ういふ婦人病が自宅療法で治るか

無病の樣な人に姙娠せぬのは何ゆゑか

おりものの療法は如何にするか

誰でも出來る　子宮病自宅療法
無代で送る　女一代の衞生書

子宮病の症狀

知らぬが不幸

鴨綠江節の音樂的考察 (三)

在平壤 石川義一

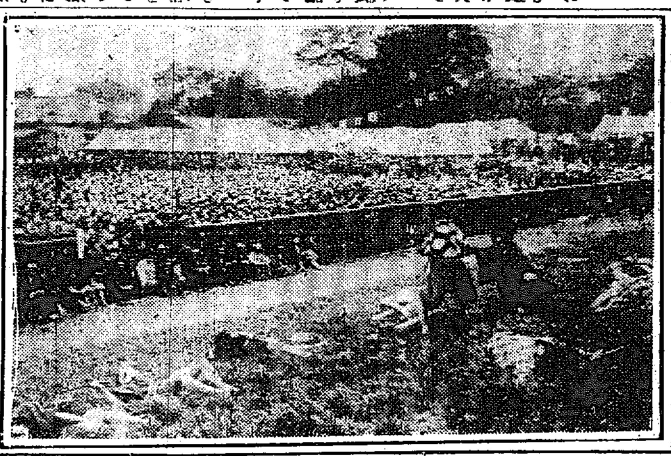
●もし私が全く私に鴨綠江節を見ると、鴨綠江節の音曲は決して下卑たものでなく、寧ろ唱歌の教材に取入れてもよいと思ひます。勿論歌詞を文藝的な高尚なものにしないといけませんが。只今の様な實際に流行な時代では國分那邊もあることでありませうが。鴨綠江節の音曲は決して下賤ではないことだけは、私は責任を負ふて斷言して置きます。

◇鴨綠江節の將來◇ 鴨綠江節の過去と現在から推測しての將來はどう發展するでせうか。勿論將來は將來になつて見ないとハッキリと分りませんが、將來を推量して見るのも面白いと思ひますから私の考へを書いて見ます。

◇概して東洋の流行節は音譜で唄はないから唄ふ人々に依つて大變異つて居る。鴨綠江節にしても緩急の度は勿論のこと、其のメロデーまでも人々は變更して唄つて居る。そこで專門家から見ればどれが標準の鴨綠江節か分らない位であるから同じ歌にしても唄ふ人々によつて變つて參りますから時節が經つにつれて曲の内容がスッカリ異つて仕舞ひ、最初の鴨綠江節の跡形もなくなつて仕まひますからなると鴨綠江節も全滅しなければならない様になる。總ての流行節が生命が無くなりかけて來るとキットその流行節の中に他のものが挿入されて唄はれる様になつて來る。例へば詩吟が入るとか、種々雜な臺詞が混合するとか。何かその流行節と全く別なものが入つて來ると、その流行節がソロく落ちかけて來てゐる。

◇から見ると鴨綠江節も最早死にかけて居ると見ても差し支へないと思ひます。但し一般が音樂的になると、こうはならないと思ひます。木に竹を接いた様な二つの曲を合して一曲にして唄ふなんて唄つて見れと往交されても出來ないことである。若し鴨綠江節に一種の節があたならば、生命も長いとでありましようか。惜いことには此れが無いために。只今は死にかけて居ると見るのが當然だと思ひます。だから早晩鴨綠江節は、世人が忘れらるゝ時が來るものと思ひます。(完)

帝大學生の野外劇『國定忠次』



東京帝大學友會では二十五日同校庭に本年度大園遊會を催した席上餘興の學生の演する野外劇『國定忠次』の場面

洋服の取扱ひ方

脫ぎ捨てる時の注意

洋服 は外出から戻つて脫ぎすてられた時に直にブラシをかけてしまひたいものです。その外に一週間又は二週間に一度づゝ火熨斗をかけることを忘つてはなりません、火熨斗をかけるには、先づブラシでよく塵埃を拂つて、シミの所や、垢じみた汚點は揮發油、ベンジン、アンモニア水などでふきとり、手拭を熱湯の中につけ、かたくしぼり、全體を拭きます。拭き終つたら暫らく風通しのよい場所につるしておいて、次にアイロンをかけます。アイロンのかけかたは板の上に

毛布 を四つ折にして敷きその上に洋服を平たにひろげ、上からぬれ手拭をあて、アイロンを押へつける氣持で、手早くかけて行きます。アイロンのあとがつかなくて、見違へるほど新しい服になつてしまひます。このやうにして折手入れをすれば、いつも新調の服と同じやうな氣持で洋服が着られます。ズボンは、常に引ばつて置く器械を用ゐるのがよろしうございます。器械のよいものがありませんでしたら毎日

寢床 の下に敷いて、寢押しをかけるのがよいのです。それには寢押の敷く布團の古くなつたのを二枚つきあはせ、それにズボンをたたみつけ、一方の端をズボンの上にかけ、すつかり風呂敷でズボンを包んで床の下に敷きますと、塵などがつかず、あく朝、穿くときに一寸ブラシをかける手間が省けます。これもたゝむ前に一度ブラシを丁寧にかけて、充分ごみを拂つておいた方が洋服の爲になります

洋服を着たら 心得て置くべき六箇條

帽子はかぶるものですが決して頭へはめ込む物ではありませんから一寸頭にのせた位の心持でかぶる事が嗜みでかぶるのをお選みなさい、殊に夏帽子を眉深にかぶると汗で頭が蒸れます

手巾は初め四つに折り上衣の胸のポケットに入れて、一寸上部の白い所を見せて置き、一度使つたら今度は褄まずに矢張り同じ所へ入れて置くのです**洋杖**は杖ではありませんから突いて歩いてはいけません、抱て輕く振る心地で携ふべきものです洋裝で歸人は扇子を持つても構ひませんが男子は公式の場合には用ひてならないのですポケットに手を入れるのは禁物です、それは本當に下品のことですたゞしズボンのポケットに指先だけ入れる事は許されてゐます、チヨッキの下をめくつてズボン釣に手を掛けるのもいけませんシャツの手首をカフスの下からのぞかせるのは下品です、男子の赤靴、白靴は公式のものではありませんから禮服には穿かぬこと

赤ん坊の育て方

寢かすのが一番よい 搖籃は腦を惡くする

赤ん坊は寢せておいた方がよく育ちます。今ごろの時候ではさらしのじゆばんの上にネルと綿入れを重ねて寢せ、その上から毛布と綿いふとんをかけておきます。多くは

◇さらしのじゆばん
◇ネルの下着の上に
◇綿入を二枚重ねる

ことが必要です、まくらは堅いものは頭を痛めることになりますから綿で造つたものを選ばなければなりません、この柔かいまくらをさせておけばいつも仰向けに寢せておいても頭の後がのつぺりするといふやうな心配はありませんから、別に寢せ方については心配しなくてもよいのです。しかし弱くなつたからといつて風の素通りするところに寢せておくとかぜをひいてしまひますから、夏は

◇涼しい室つまり
◇朝は北側の室

冬は東か南側の室に寢せるやうにしなければなりません、風の素通りするところに寢てゐるとおとなでもかぜをひきますが、これは眠つてゐる時は體溫が下つてゐるからであります、家によつては赤ん坊を寢かせる時ゆりかごに寢せて靜かにゆる人がありますが、これは赤ん坊がます／＼寢にかけられたやうなもので

◇腦を痛める事に
◇なりますから

ぜひやめなければなりません、道の惡いところを乳母車に乘せて眠らせたり、またまだ足の弱い子供を乳母車に乘せてでこぼこの道を往來するのも腦を惡くすることになりますから注意しなければなりません、今まで眠つてゐた赤ん坊を抱く時にはぜひちやん／＼を重ねるやうにしなければかぜをひかせる事になりますが抱く時にはいろ／＼の注意が必要です

◇大體抱く事は
◇くせになり易い

ばかりでなく赤ん坊の背中をまげたり首をぐら／＼させることになり易いので子供の成長といふ事からいつても餘りよい事ではありません、しかしいつも寢かしておくといふ事はなか／＼むづかしい事ですからもし抱く時には百日前後で、まだ首のまはらない赤ん坊は首をまげないやうにしなければなりません、その爲には赤ん坊の頭を左の腕に右手に

◇赤ん坊の背骨が
◇まがらないやうに

赤ん坊の足をかゝへることです、むろん多くは足をだきふとんでくるんでやらなければなりません、五六ケ月になつて首がすわるやうになつたら赤ん坊がらくに動くことができるやうにまつすぐに抱く事が必要です、その爲には左手で赤ん坊のどうをかゝへ右手で赤ん坊をしりの下からかゝへこむやうにしなければなりません、おぶふ事は赤ん坊の

◇育ち方からいへば
◇一番惡い事です

それは腰や胃腸をおさへるばかりでなくひもでしめつける爲脊中がまがつて足の運動ができなくなりその上足がだらりと下つてゐるので冷え易いからであります從つてなるべくおぶはしないやうにして育てなければなりませんがどうしてもおぶはなければならない場合には胸や腹や足を強くしめつけないやうに脊骨をまげないやうに

◇ゆるやかに
◇おぶふ事です

その爲には赤ん坊のわきの下へはばの廣いひもを通して赤ん坊の手が自由に動くやうにしておかなければなりません、髮の毛が赤ん坊の目へはいらないやうに注意することも大切です、それから四つ五つの子供をおぶふ時にはしりのあたりへはゞの廣いおびをかけて子供の兩手をおとなの肩におくやうにしなければなりません、

◇かける時には
◇ねんねこを

ちやん／＼を一枚ぬいでおぶつて、背中からおろす時にはまたちやん／＼をかけてやることが必要です(竹下留學博士談)

夫の前に坐れぬ エジプトの花嫁

非常な男尊女卑の國 式は十一日間打ち續け

◇エジプトではごく若い中に結婚する習慣があつて花嫁の多くは大抵十歲位から十一、二歲までで時には十六歲位になつて結婚するものもありますが、これはごくまれだといふから驚くではありませんか男子は十五六歲ですが、この結婚期に達した男女が、もし獨身でおれば、どこかに缺陷があるのだと世間から後指をさゝれるといふ位です

◇結婚式は莊嚴嚴肅でコーラン(マホメットの聖書)を讀む坊さん一人と結婚を證明する坊さんが一人あれば式典を擧げることができます、花婿は結婚の當夜まで花嫁の顏を知らないといふのがエジプトにおける結婚の特徵です

◇上流の婦が結婚する場合はもしそれが初婚なれば結婚式終了後、非常に盛大なヒロウの宴が催され、多くは十一日間晝夜ぶつ通して行はれますが、たゞ一つの原則として十一日目が必ず金曜日か月曜日に當るやうにしなければならないことです、たゞこの間も花嫁は顏をヴエールでかくして居るので花婿はその顏を知ることができません

◇そして宴會が終ると、花嫁は女の友人達につれられて花婿の家へ連れてゆかれる順序になります、マホメット教では男子は四人まで妻帶することを許されておりますが、大抵一人で滿足しております、しかし日本の金持連と同じやうに金持連ど妾の一人や二人持つてるので甚しく女性の人格を認めて妻一人で滿足してゐるのではないのです

◇家庭における妻の位置は非常に低く、良人の前で普通にすはることさへ許されず常に良人の前に出たやうにしなければならないのです家庭における女性で權威のあるものはたゞしゆとめだけです

◇離婚も至極容易で、たゞ良人が「お前は離縁されてゐる」と三度繰返していひさへすればよいのですから日本の三くだり半より簡單です、エジプトの男子は非常にヨーロッパ婦人崇拜家で、その結婚を望んでゐるといひます

投稿歡迎

あらゆる文藝的作品(批評感想を含む)を歡迎する▲一行十五字詰を行數自由なるもあまり長いものは困る▲紙上の匿名は作者の住所氏名を明記されたい▲懸賞文藝と區別する爲封筒に『讀者文藝』と朱書する事

總督隨行雜詠

長谷川基

一、巡航

『鴨山の草木をして
醉らしめんと欲す』
嘗て故人は詠じけり。
たとひ北國雪深く
訪ふ人絕えし山川も
惠みの春に逢ひぬれは
紅綠映るありなれや
鴨の河路を探らんと
巡航幾日二百餘里。
今日ぞいでまし迎へはや
叡ゆる郡の手に引かれ
水際に並ぶ鵠の
小さき頸なでやりて
無限情に耽りけり
消えゆく船を見送りて
別れを惜む人々の
眼の底に動き出づる
感激の泉湧きもせず。
しばし艦艇に立ち出て、
沿江山の春を眺むれば
谷間の雪も消え果て、
木々の梢に若芽ぶく。

二、行路難

隘路は遠し六百里
厚昌嶺の險あるも
たやすく越ゆる術はあり
江岸長し二百餘里
曲江の瀬は荒ぶるも
波間をくゞる飛鳥丸。
見よ高嶺の火田民
雲の上をよそにして
窮の家に半年を
暮すも樂ぞ山夫
艱難か言ふ行路難
苦境を超ゆる坦道は
山にあらず河にもあらず
人情機微の間にあり。

三、多田榮吉君

名にし負ふ飛鳥丸
江流開拓の
使命雄々しき雄飛躍
前人の未だ試みざる
江路百以七十里
難所を突破し乘り切れば
艱難辛苦の跡懷かし
江流辛く文化の尖端
船中の客は半島の父
船をやるものは誰ぞ
鴨綠江唯此の人あり

流行 扇と團扇

◇…扇や團扇の季節が近づきました。今年の團扇は、木版で肉筆のやうに見せるものが新しく、要所がすたれて、みんなさし柄になつたのが變つた點です。模樣はグッと派手になつて、ケバ／＼しいものが喜ばれて居ます

◇…扇の方は、女持が象牙よりも寸法が非常にのびて、昨年までは四寸位なものが大流行でしたが、今年は六寸五分といふ倍方です

◇…支那扇は黒柄がすつかりなくなつて、白地に模樣のついたものが流行して居ます、男子用としては地味な色どりが喜ばれて居ます

魔の女—慾の女 情の深い女 (娛樂世界六月號)

因果同志 心中する迄

山の手の紳屋の娘、嫁入盛りを父に死なれて、學校を中途退學、母と朝夕の水仕事の間を、片隅の花の稽古、きなひの姿やさしく、道行く人の目を惹きの、其家の看板娘と、噂は自ずと高くなつて、ツイ近所の大商人の跡取息子の眼にとまり、息子は幾度か歩を運んで買物に行つたまにそつと渡した戀の文、娘もそれと快く受取つて、息子が戀の勝ち保たく成りかけた時、さる大家から嫁にと強ての懇望もだし難く、娘は嫁に行つた後で、件の息子の家は不圖した事から破綻して、昨日に變る小間物屋の奉公人。それがめぐりめぐつて娘の嫁ぎ先へ出入りに行つた先の奧さん。そそ誰あらう彼の戀人の娘、しかも、姑の虐待に泣きの涙で日を送る此頃。[illegible]

すつた。松吉が何んでこんな大それたことをしたか、それは二世を交はした情夫の身に切迫つた惡情があるため長已三郎講演の口演の出し物「松吉」は其興味ある世話物の面を示して居る「歐火事」は落語界の新人三語樓が女八面觀について例の口調で縱横に皮肉を散らした處に一派の滑稽妙味がある。如燕の「因果お菊」は今月號から新たに掲載する連續もので、七十を越した老人が孫のやうな女を愛して初めて情味を知ると云ふ不思議な話、可憐の女お菊が數奇の運命に弄ばれる話は茲に開く。根岸に住む金貸の隱居が或る夜背に傷を負ふて斃つて秘密に始末して居ることが[illegible]

[illegible] 東京市日本橋檜物町 娛樂世界社

府立 仁川病院 眼耳鼻科 主任 電話 [illegible]

注文殺到九拾版 發賣
性學大家 澤田順次郎先生 終生の大著
實際的 避妊 產兒制限法
特價金壹圓七拾錢 ▲代金引換送料廿二錢 ▲前金注文送料八錢
質問券 無料進呈
最新刊 ▼希望せざる妊娠、求めざる子供の重荷に苦む人々に告ぐ
[illegible]
新大阪の文化生活 無代進呈
正文社本店

◎見れば見る程 讀めば讀む程 趣味ある 秘密珍書 男女夜の玉手箱
特價八十錢 秘法まじない奧傳 一冊無代進呈
東京四谷區六本村町五二 東洋社

中風病 きちう
[illegible]

癩病 梅毒等で仙藥を用ひ効無き方は左記へ御照會あれ 不思議に好く効く家傳の妙藥 全治者多數あり
京城櫻井町一丁目 高田本家

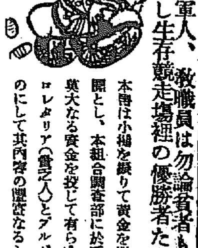
少資本で年收千圓 養鷄講義 東京大久保百人町二六九 大日本養鷄研究會
[illegible]

日立モートル 京城 富田商會

金持となる手引

(百六拾五版)
見たか?、讀んだか?、試したか? 民衆經濟書の大王 (證據狀續々來り机上山をなす)
貯め方くらべ 利殖早わかり

●官吏、軍人、教職員は勿論若者も富者も必ず讀め、利殖の神髓を容易に會得し生存競走場裡の優勝者たらん。



本書は小冊を擲りて資金を散きつゝ『富の分配の公平』を暗示せる大規模の事業を首眼とし、本組合調査部に於て、學理と實際との調和を得たる專門の利殖家を招聘し莫大なる資金を投じて有らゆる利殖方法に付實際に比較研究を遂げ現下に於けるプロレタリア(貧乏人)とブルジョア(金持)との懸隔に對し圓滿なる解決を與へたるものにして其内容の豐富なると敍述の嶄新なるとは斷々乎として他の書に見る能はざるもの

●眞劍に忠實に社會奉仕の爲め壹萬部限り印刷實費の半額にて頒布す。希望者は貳錢切手五枚封入申込めスグ送る。

東京市京橋區八官町二十三番地 貯金一新匿名組合出版部
電話京橋四八〇・三四三三番 振替東京一四三二五番

四六版洋裝美本 百三十頁紙數二十頁口繪

日焦防止 御化粧料
御園ルチゲン

日やけをふせぐは

だん／＼日光が強くなつて行きますにつけ、日焦をお防ぎになりませんと、甚しくお化粧の美しさを損じます。醫學博士故高橋順太郎先生の發明されました御園ルチゲンは新しい原料に、皮膚に有效な材料を配合して調製したものですから、どんなに太陽の光線を浴びても決して日に焦ける憂ひは御座いません。

皮膚の保護

伊東胡蝶園

巡査二名殉職一名重傷 一巡査輕傷 楚山で

[illegible]

府内銀行側面觀（三）

更に翻つて地場銀行の現状を見るに、預金貸出の關合ひは常に貸出超過の状態にあるは、寧ろ貸出超過の状態にあるは、それだけ朝鮮の事業界に資金を供給せる事は敢て論を俟たない所であるが、然し現在に於ても其貸出の大部が絶えず有利に活用されつゝあるであらうか、否それは財界の好況時代に於ける放漫なる貸出が一時財界の不況と共に回收困難に陷つた所謂救濟貸出の固定貸付と見るべきで、就中活用されつゝあるものは僅に一小部分に過ぎないことは幾多の數字によつて現はれる、貸出超過率の減少なることが此間の消息を如實に物語つて居るのである。◇預金に至つては、地場の變故に依つて掛當見るべきものありとは云へ、取引者の總ては常に銀行を利用せんことに汲々たるため、當座口としては殆ど見るべきものなく、殊に特別當座又は定期、貯蓄に依つて大體を補ふの狀態で、内地銀行の如く國替振込み等に依つては普通とも云ひ得べく、のみならず彼我信用の優劣は自然内地銀行に向つて吸收さるゝ傾向であることは、先づ預金者の心理狀態より推して、其優なるものに預託するは當然の歸結と謂はねばならぬ◇以上は府内の地場、内地兩銀行に對する概括的側面觀であるが、以上の事實を以て概察するときは、目下提唱されて居る『内地資金流出』なるものが、畢竟過不足の結果として自然の潮流に從ひつゝあるかは推するに難くないのである、然しながら如何に自然の結果とは云へ此の『資金流出』が續くとも假定しながら、不足に因を發して居るとするならば、先づ『資金流出』を叫ぶに先立ち其補足に向つて進むのが緊下の急務ではあるまいか。◇地場銀行の資金不足、それは以上述べ來つた如く内地銀行に比較しての信用の優劣である、優劣の差は即ち資金不足となつて今日の結果を續して居る以上、之れが補足の根本策としては最早總ての論議を避けて、地場銀行の信用向上に依つて之れを補ふの外はないのである。然るに現在府内に散在する地場銀行の個々に就て見るとき、其資格に於て果して内地銀行に匹敵する程度のものであるかそは甚だ疑心すべき狀態であると答へねばなるまい◇然らば如何にして此の現狀を救拾するか、之れ即ち年來叫ばれて來た一大商業銀行の出現がそれである出來朝鮮地場銀行にして内地諸銀行と對比して、直に商業銀行としての機能を發揮しつゝあるもの果して幾何あるか、勿論殖銀金融部に於て其成績の稍見るべきものあるも、這は單なる勸業的によつて僅に其一端を補はれて居るに過ぎないのであつて、今や朝鮮の商業金融界は獨り内地支店銀行に隷屬されつゝありと云ふも過言ではあるまい。◇之に依つて之を觀るとき、最近提唱されつゝある大商業銀行の出現が如何に緊急事であるかは、最早論議の餘地なきものであつて、之れが出現は必ずや將來朝鮮商業金融界の緩和となり、信用の向上資力の充實は遂に預金者の安定となつて、此の偏頗狀態を打破するは決して至難ではないのである、今や商業銀行は此の見地からして合同されんとして居る、之れ明かに此間の消息を物語るものではあるまいか、然しながら獨り有力銀行の出現のみを以て此狀態を緩和し得るとは斷言し難いのであつて、それは當事者の眞摯なる努力に依つて現はるゝ預金者の覺醒である、・・・◇再び云ふ、『資金流出』の緩和、それは有力銀行の出現、當事者の努力、預金者の覺醒である、若し夫れ以上の三要素を缺くに於ては如何に叫ぶも大にするも、そは徒なる叫びに終るであらう。（をはり）

府税改正と

[illegible]

昨年度發行の鮮銀券
基準發行高指數二二四

大正十二年度に於ける朝鮮銀行券第二十二條第三項（第二項に規定するもの）の外市場の狀況に依り銀行券の發行を必要とするときは朝鮮總督の認可を受け國債證券其他確實なる證券又は商業手形を保證として其發行をなす事を得この場合に於ては政府の命ずる處に依り發行高に對し年百分の五を下らざる割合を以て發行稅を納むべしに依る鮮銀券の發行高は十八億七千五百三萬八千七百七十二圓で此の總額三十五萬九千二百七十二圓であるが、本稅は大正八年に最高記錄を示し其後漸く減少の趨勢にあり即ち歐州戰亂の勃發後一時頓挫したる財界は戰爭の進展に伴れ好況を持續したが大正九年三月の大變動を轉機として内地に於ける外國貿易の輸入超過金融逼迫產業の生產減退等の影響を受けたので大正八年を基準とした發行高は九年に於て依然四〇、七に減少し十年には三一、三となり十一年には三〇、六となり十二年には僅に二一、四を維持した

私鐵補助增額案
來議會提出は至難か

朝鮮私鐵一般補助額問題は其筋の協議を經て更に何れかの方面に於て私鐵工事の進捗を目ざす鐵道部當局も一時此等に對して眞面目に研究し補助增加となる際に於ける總ての條件等に對しても促進方を講ずる處があつたが四周の事情は直に補助案を來議會に提出し難い事情もあり且又内地鐵道省方面の私鐵補助方針は大體に於て確立と決定せるも未だ具體的進捗を見ないので其儘に殘され會社側が豫期した如く來議會に之を提出する事は到底至難な模樣であるが一方私鐵會社側としては一割增額に依つて株式拂込並に資金を容易に徵收し得るが爲め比較的低廉化された建設資金を投ぜずに事業の擴張を企て得る中心で極力東京方面にて運動中の模樣であるが以上の事情から考察するときは本問題の來議會提出は或は至難であらうと觀測されて居る

東拓低資
二千萬圓と決定

【東京電報】東拓は期限到來の社債借換と整理關係後に於ける資金調達の爲め預金部よりの低資融通の件を交渉し居たが政府に對し低資融通の件を交渉しつゝある事は既報の如くであるが右は漸く總會終了後遽かに進捗し利率年六分五厘で總額二千萬圓を會社側の必要に應じ二回乃至三回に分割して融通を受くるに決定した

商議會頭問題
三十日役員會開催 後任は有賀氏か

京城商業會議所會頭赤羽氏の辭任に關する役員會は所謂議論に代表として別府に赤羽氏を見舞はしたる商議の内藤吉氏が一兩日中に歸城を待て三十日頃役員會を開き同氏の報告に依り對策を講ずる筈であるが而して赤本氏の辭意は到底動かすべくもないので後任會頭として有賀殖銀頭取の意見と共に最善の人者として特別評議員殖產銀行頭取有賀光豐氏を推薦する事に決して居る模樣である

東拓滿洲理事は
撤廢か兼任？

東拓滿洲駐在理事八木武三郎氏物故せしに就き後任問題に付き早くも色々と話頭に上つてあるが先づ現在の事情より見るときは目下東京本店の庶務、事業、金融の三部は池邊（庶務）鈴木（事業）沼田（金融）の三理事に依り夫々分擔せられ又朝鮮と滿洲には尾崎、八木兩理事が駐在してゐたのであるから八木理事の後任は缺員の儘とすれば滿洲の駐在部を撤廢するか或は本店總務理事中より適任者を選定するか尾崎理事をして滿洲駐在を兼任せしむるか三者何れかを選ぶであらうと觀へられてゐる

京取社長就任は六月上旬か
天日氏の

京取社長後任は過日の重役會に於て全會一致を以て天日氏を推挙せるは既報の通りで同氏も又目下其諾否につき考慮中であるが同氏の就任は日頭最も關係深き荒井初太郎氏の歸城を待つて一切を諮り去就を決するらしいが同氏の事情よりして六月上旬までには多分同氏の就任を見るであらう

仁川輸出水產界
近年稀なる好調

四月中仁川稅關水產檢查所の檢査を經て天津芝罘大連其他支那各地に輸出された水產物は海參の百二十八俵三萬圓を筆頭とし鱶千貝等合計百四十三俵であるが海參は黄海道沿海に於ける潜水器漁業極めて大漁にして加ふるに支那側地方の當値は水產物の相場をして近年稀なる好調を呈せしめ海參百斤當り上等品百六十五圓並品百五十五圓にて平均に比し百斤三四十圓の騰貴を示し當業者は樂觀して居る

商銀合同委員會

朝鮮商業銀行では二十六日重役會より提示された合同案に就き既報の通りであるが同行では右に關し二十七日急遽重役會を開催せるは二十九日更に合同委員會を開き大體方針につき協議する筈

財界見聞

▲近來京城に商議の事件が三つ出來た、ト云つて驚くに及ばぬ、曰く商議會頭、曰く京取社長、曰く合銀頭取之だ▲所が此の三つが三つとも皆、何にブラついてゐるから甚だ心細い、▲會頭には有賀殖銀說があるが、果して諾と來るかドウかは疑問だし、京取社長は天日氏が推されたが、之れもトツオイツで思案投首の態、合銀頭取は鮮銀一任だが何れにしても箇無しは恰好が惡い、ドンなお嫁さんが來るやら▲トハ滿蒙通のヤキモキ話しだが鮮銀總裁は人選全能の支配所だからネ

大阪續て安く 株式軟弱

前場低落 今朝は引續き大阪の低落を入れて人氣益々沈滯地株は槪して變らざりしも大新仁新はヂリ安を續け大體不味の成行を示した（短期前日止値比較）
▲京取十錢高▲仁取八十錢安▲仁新三十錢安、▲安取保合▲大新七十錢安

後場閑散 後場は大株市場當限受渡し準備にて休會の爲め入電なく双方傍觀に見送り諸株一本乃至二本の付け札で場面至極閑散を呈し保合に終つた（短期前場止値比較）
△京取十錢高△仁取四十錢高△仁新十錢高安取保合△大新二十錢高

大新不安增嵩

此の日大新は昨大引後大阪七十五圓ドタ引の低落を入れ今朝も七十五圓二十錢より五圓ドタと押し五圓三十錢の不勢を入れて人氣一層の沈衰を加へたるも追日步關係から賣り物讓り且つ値頃の上からも此邊の突込みは警戒し戻らば賣らんとの採合で人氣の割りにはドゲず七十五圓九十錢と寄り六圓二十錢を高值に五圓八十錢と止め昨大引より七十錢方下げたが大阪より五十錢方の上鞘を告げ在外手堅き商情を示した併し東京市場の新株安を受け加ふるに米國大統領の排日案調印の刺戟と島系統事業が引續く財界不況の爲めに昨今では其内容頗る混亂し結局總勘定の時機は遠くはあるまいとの觀測は大株を中心として悲觀の念を益々深刻ならしむるに至つたと稱され殊に新株安に依る新東安は大阪に於ける買方に採つては抄なからざる苦痛

不氣乘軟調

仁新不信の念加はる

仁新は當賣双方の解合と共に商情漸く落付模樣となり殊に買方林從來の買賣主の内容は頗る錯綜し居りて仁新不信の人氣を招來し此鼻と共に根本的瓦落を生じ大新は此であらうとの觀察が行はれ同時に當市場として大勢の趨く處逆行步位では到底支へ難いことになるだらうと觀られて居る

安取ヂリ貧

安取は最近安東地場安と大阪の不勢に伴れてヂリ安を告げ十五圓二十錢と慘落するに至り本日は更に角保合つたが値頃關係から此上の下値は望まれないが氣配は依然不味を呈して居る一時懸念された錢鈔交易所の新設も事實無根と判りた安取として遣回のヂリ貧式低落は受取り難いと稱されて居るが同取引所としては今期配當一割二分を豫想されたものが一割と内定し二分は積立つるとか傳へらるゝが前期に於ては八分配當以上は至難のものを一割とする等更角手加減をする爲めに配當豫想減の一兩日を買ひも大いに警戒を要するとの念は漸く市人一般の間に拡かるゝに至つた模樣で今朝も單に手詰めと見る手口のみで一向目立つた手振なく至極不氣乘の裡に三十錢方の下押しを告げた更に角仁新唯一の仕手と稱された林某が退陣の止むなきに至り而かも仁新に對する一般の警戒益々嚴しきに於ては今後の商情も自然不氣乘を免がれず閑散裡にヂリ安を續ける外はあるまいと

京取保合

京取は値頃關係から大阪の鈍況も一向響かず依然保合を續けて居るが這は値頃安の現はれる一面漸く底打の觀あつて賣り物減退し此邊買つて見んかとの人氣も非々擡頭するに至つたと稱せられる爲めであるが京取としては只後任社長の決定と共に拘株處分の如何が期待さるのみで外には買つて見ようとの材料もない折柄であるから新任社長が拘株處分の方法等が決定する迄は當分此邊の往來を續けるではなからうかと

京取市場季祝

來る三十一日は皇太子殿下御誕辰當日に付京取市場は季祝の爲め同日後場休會のこと

大株市場定休

大株市場は當限受渡準備の爲今二十八日後場長短兩期とも定時休會

大新喰合內容

二十八日現在

▲大新四、四二〇不民一〇〇〇賣り方有田二五〇吉見五三〇、李青一七〇、成清六〇〇、新田一五〇、定岡一〇、閔二三〇、市川一三〇外三店、買方田中二、〇六〇、大島一九〇、新田一、四八〇、南二七〇、錦三〇外二店

算定 京取二十六圓、仁取九十二圓、仁新三十二圓、安取十五圓、大新七十六圓

日步 京取十一錢、仁取三十五錢、仁新十四錢、拓新十錢、安取十錢、大新逆四十錢

出來高 ▲長期出來ず累計五萬七千八百四十二枚▲短期三千百四十枚累計四十六萬八千七百九十枚

前場手振 ▲京取、洪柱、田中、金福、井口、閔賣三百枚▲仁新、洪柱買、成清、市場、閔賣り吉見、田中、定岡、金福買二百枚▲大新、吉見三百、成清賣、定岡二百、南買、マバラ賣り、金秀二百、マバラ賣八百枚

現株中値出來値（二十八日）

銘柄		前場當限	前場先限	後場當限	後場先限
京取	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
仁取	寄	三二・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三一・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	六八・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	一六・一〇	…
	引	…	…	…	…
殖銀	寄	四四・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	一〇・六〇	…
	引	…	…	…	…
實銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	二九・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
漢銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	六・八〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	二七・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	一五・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮土	寄	二五・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝紡	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
滿毛	寄	一・四〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
京電	寄	二四・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
電興	寄	三・〇〇	…	三・四〇	…
	引	…	…	…	…
釜產	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝鐵	寄	三・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
京門	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
京南	寄	七・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
金剛	寄	一六・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
滿鐵	寄	一〇八・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三三・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
東中	寄	二・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	二・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
信殼	寄	五・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
朝信	寄	三・九〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
殼信	寄	六・八〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
滿取	寄	三・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
奉信	寄	二・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
安取	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
大新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	二六・五〇	二六・三〇	二六・六〇	二六・三〇
	後	二六・六〇	二六・六〇	…	…
仁取	前	九二・八〇	九二・二〇	九三・〇〇	九二・二〇
	後	…	…	…	…
同新	前	三二・〇〇	三一・八〇	三二・〇〇	三一・八〇
	後	三一・八〇	三一・八〇	…	…
朝紡	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
滿鐵	前	…	…	…	…
	後	…	…	…	…
安取	前	一五・三〇	一五・二〇	一五・三〇	一五・二〇
	後	一五・二〇	一五・二〇	…	…
大新	前	七五・九〇	七五・八〇	七六・二〇	七五・八〇
	後	七六・〇〇	…	…	…

大阪長期取引

銘柄	二十八日前場寄付	二十八日前場大引
大株	九〇・〇〇	九〇・三〇
同新	七五・五〇	七五・三〇
堂新	六九・一〇	六九・二〇
鐘紡	二一・九〇	二一・九〇
同新	三五・三〇	三五・五〇
商船	…	八〇・六〇
同新	一七四・五〇	一七四・三〇
東紡	一一三・二〇	一一三・一〇
日鐵	一〇二・八〇	一〇二・九〇

大阪短期取引

銘柄	二十八日前場寄付	大引
大新	七五・二〇	七五・三〇
東新	一八三・一〇	一八三・四〇

安東株式

	寄付	大引
〇廿七日後場寄付		
安取當	…	一四・九〇
先	…	一五・〇〇
〇廿八日前場寄付		
安取當	…	一五・一〇
先	…	一五・〇〇

鎮平銀

	寄付	大引
〇廿七日後場寄付 當限	一・六二〇	一・六一九
先限	一・六一三	一・六一三
〇廿八日前場寄付 當限	一・六三〇	一・六三八
先限	一・六二四	一・六三一

米況（廿八日）

仁川期米

前場持合ひ 今朝大阪三十六圓三十錢と昨止めより三丁安を入れたるも二節三十三錢の小戻しを耳せる當物に當市出來ざりしも先三十二圓二十六錢と前に六丁高に寄付大阪跡四十八錢を入れて二節更に四十錢と縮りたるも月末關係にて高値は買方の見發りに伸惱みの折柄大阪二十五錢と前値き止めを移し二十二錢と挫け引際買方の手仕舞ひ急ぎに多少賣過ぎ模樣もありて三十三錢と跳戾し大阪と同值に二丁前に縮少して大引した

後場堅かり 大阪後寄三十六圓九十一錢と十六丁高を移し當限出來ざりしも先三十二圓四十五錢と十二丁高に寄付二節大阪の五十二錢を受けて更に四十九錢と締りたるも跡買物殺か

	〇廿八日前場當限	中限	先限
寄	…	…	三二・三六
二節	…	…	三二・四〇
三節	…	…	三二・三三
四節	…	…	三二・三四
五節	…	…	三二・二二
六節	…	…	三二・二六
七節	…	…	三二・二五
八節	…	…	三二・二三
九節	…	…	三二・二一
十節	…	三二・〇〇	三二・二二

	〇廿八日後場當限	中限	先限
寄	…	…	三二・四五
二節	…	…	三二・四九

各店の俵合せ

當限賣方 ㋙六〇〇〇▲㋕三六〇 ▲當限買方 ㋟四四〇〇▲㋞三七〇〇▲丸張一〇〇〇▲㋣五〇〇 中限賣方 ㋢二〇四〇〇▲㋕二一〇〇 買方 ㋞一三六〇〇▲㋕三四〇〇▲丸張二一〇〇▲㋡一九〇〇▲㋠▲丸米一〇〇〇▲金往一〇〇〇▲㋠ 先限賣方 ㋠一五三〇〇▲丸米四〇〇〇二〇〇▲㋕七〇〇▲丸張二〇〇 ▲㋞九〇〇▲㋣六〇〇▲㋞三〇〇 買方 ▲丸市二〇〇▲㋫一〇〇▲㋠一〇〇〇▲㋗六九〇〇 大一五〇〇▲㋓七〇〇▲㋜二〇〇▲㋤二〇〇▲丸〇〇 ▲金往二〇〇▲丸タ一〇〇

時代を考へ

一兩日來の阪地安は當限買方の受米忌避から來たものだが又た政府の外米買入れも幾分手傳ふて居る模樣である五月一日現在の殘存米高から今後の需給關係を概算すると明年度に持越す米は殆ど三百萬石内外は出る譯で左迄前途の供給を悲觀するに當らないが政府が外米の買入れを急ぐのは七月一日より關稅復活の關係もあらう然し又た其處には殘存米を正確とした需給上の樂觀が出來ない事情があるのではなからうか兎に角先限時代の相場が強硬を維持して期近に廻るに連れて標準仕舞の傾きがある處を見ると買方が米を欲する事を雄辯に物語つて居るから賣方は後と難も依然現下の狀態を受渡しでさへ痛み米で不合格の多かつた事から推すと今後は一層品質良好の米でないと合格しない事になり又在來米は著しき減少を示して行くから時代になるのだから之れ迄の調子で樂觀賣が許されるかどうか敵派としても考へねばなるまいと云ふ事も一寸ある

戾賣り主張

過日の殘存米發表で需給關係の相場は先づ一巡と見て可なりだが然し壹ケ月五百萬石からの消費されるものは要するのと六ケ月で三千萬石を要するから外米の輸入を俟つて行かない限り端境期の持越米が不安であるとて中には前途強氣一貫を主張する向もある

米界餘聞

先限の間は成勞よく跳ね廻る相場が期近へ廻るに從ふて昆ぶなつたのは一月以來の賣決りとなつた之れを稱して山吹相場と云ふさうだ▲其れは黃金色の綺麗な花を見て乘付いても肝心の實が一つも成らないからだとか▲成程今當限も阪地では四百萬石の受方が決つたなが一時は非常な勢であつたが扱て今日になつて見ると正米との採算も出來なく花の褪せたが如く昆古巢れてしまうのだから買のない事形しい▲之れではいくら買が焦つても客の下の力持ちに終るのは當然かも知れない▲と云ふて買方主力たる阪地の中の谷一派は悪米の捨場所と見て居る丈に此の月末安はチヤンと運根喰つて吹いた處で利喰ひをして仕舞ひ當限安に叩き込んで來た處を再び旨く掬はうと云ふ御存であつたと云ふからには買方も調子に乘つて掴んだ處はドン底だと云ふ屆間を踏まぬ樣御用心▲殊に殘存米二千九百萬石と云ふ數字から概算すると締に三百萬石の持越米が出るのに拘はらず政府が頻りに外米の買入を急ぐ處を見ると矢張り算用合ふて米足らすと云ふ樣しい處があるのぢやないかと皮肉な觀察を下して居る向もある

京城穀物

正米現物 金融關係より多少賣物氣よ後場期を控へ居る者と當田の如何なる拘持時期を控へ段駿々には手放來らず今朝は定期の氣弱を傳へか十錢方の氣弛み模樣を呈し四等合落三十圓九十錢埋合

	前場寄付	前場大引
〇廿八日		
㊀	…	三二・三五
㊁	…	三二・四〇
㊂	…	三二・三九
㊃	…	三二・四〇
㊄	…	三二・三九
㊅	…	三二・三四
㊆	…	三二・四〇
㊇	…	三二・四〇

	後場寄付	後場大引
〇廿八日		
㊀	…	三二・三二
㊁	…	三二・三三

〇廿八日	當限	中限	先限
	…	…	[illegible]

	賣	買
入段	當限	三、〇七
	中限	三、一〇
	先限	三、三〇〇
乘組高	當限	二九千六百石
	中限	二萬七千五百石
	先限	二萬二千四百石
出來高		五萬三千四百石
累計		四二六八二〇〇石

仁川正米

仁川正米 四等三十圓九十錢地拐玄米二十九圓八十錢殼上物九錢五厘在來補九錢三厘見當にて前日と變りなきも買入見送りの爲め小口取引に過ぎない模樣である

大豆

相變らず新潟物の出廻り安に脅されて内地注文步々しからざるも手持筋は何れも高値待ちに賣惜り居れる爲め底意は依然手堅く龍山三等十八圓六十錢長湍十七圓八十錢金浮十七圓三十錢漣殼十八圓處の持合ひ唱へである

釜山正米

現物殼良都三十一圓八十錢神力三十一圓五十錢五月末限三十一圓二十錢六月中限三十一圓六十三錢七月中限三十二圓四十錢出來高五千石

群山正米

現物殼良三十二圓神力三十一圓五十六月中限三十一圓四十八錢六月末限三十二圓十錢出來高一萬〇四百石

大邱正米

現物殼良都三十一圓四十錢神力三十圓七十錢出來高八百叺七月中限一節三十一圓七十錢二節三十一圓六十五錢より七十二錢出來高一萬七千石

大阪期米

	廿八日前場	廿八日後場
當寄	三三・三九	三三・六九
止め	三三・五一	三三・六九
中寄	三四・八一	三三・六八
止め	三五・〇〇	三五・〇九
先寄	三六・三〇	三六・〇一
止め	三六・三〇	三六・〇一
二節	三四・一二	五・二二
三節	三四・一八	五・〇〇
四節	三四・六八	五・〇〇
五節	三四・九九	五・〇四
六節	三四・九九	五・三三
七節	三四・〇〇	…
八節	三三・六六	…
九節	三三・五五	…

東京期米

	廿八日前場	廿八日後場
寄	三八・三九	三八・五〇
二節	五一	五六
三節	五八	六〇
四節	五七	五七
五節	五〇	五六
六節	四〇	…

兵庫期米

	廿八日前場	廿八日後場
寄付	三六・三三	三六・三九
止め	三六・三二	三六・四七

下關期米

	廿八日前場	廿八日後場
寄付	…	…
止め	…	…

桑名期米

	當限	中限	先限
廿八日前場	三三・二〇	三三・三〇	三三・三〇

大阪三品

	〇廿八日前場寄付	前場大引	〇廿八日後場寄付	後場大引
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

商業登記公告

大正十三年五月二十二日附本紙所載全州地方法院、全州支廳株式會社登記公告ハ左ノ通リ訂正ス 全北郵便部長補 大正拾參年四月貳拾六日定時株主總會ニ於テ左ノ者取締役ニ當選同年五月八日就任ス 全北益山郡益山面南中里 番地 取締役 内田 … 取締役松崎時哉八同年五月貳日辭任シ監査役 同月四日住所ヲ左ノ地ニ移轉ス 東京市赤坂區青山高樹町拾武番地 右大正拾參年五月拾武日登記 全州地方法院

仁川宮町 西洋料理 東洋軒 電話五一九番

門戶標札製作販賣
京城道令ニテ各戶ノ門標ハ來ル七月一日カラ揭示セネバナリマセン此際弊社ハ京城府ノ標札價格テ製作販賣致シマスカラ期日ニ遲レヌ樣至急御求メ下サイ
定價表 木製 長サ六寸 厚サ八分 中二寸五分 金四十錢
陶製 金一圓三十錢
白大理石製 金一圓三十錢
西面山樂町三六 トヤマ商會

● 娚ひみつ病 生殖器機能障害たる 勃起不能や快感減少、早漏、遺精、夢精、短小、包茎、神經衰弱、りん病、消渴等は、特許眞空療法器一回のみで自宅で根治に奇効を奏す 無代進呈 新療法研究所

金館の 馬者 讀者優待券 割引料金（八十錢を四十錢 六十錢を四十錢）（一枚二人通用） 京城日報社

佛國製 ミチェリン コード タイヤー
新輸入品 佛國製ミチェリン 米國製グードリッチ 和製ハマタウン 御申越次第定價表進呈
元 仁川 入 輸 直 ベンネット商會 電話 一二〇番

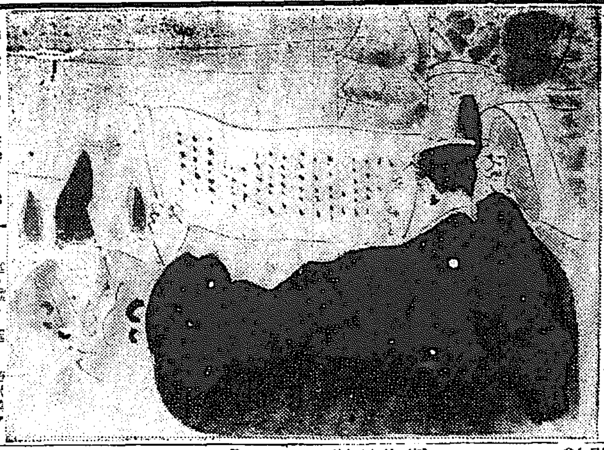
本場 伊勢崎銘仙（大柄・中大柄・中柄）
▶銘仙の思ひ切つた安値提供……
……袷・單衣向の新柄ばかり◀
値段は 六圓五十錢 七圓五十錢 八圓五十錢
今が買ひ時 モスよりも安い
羽二重染片側帶
▼生地もよし・柄もよし……
……清々しい夏向の逸品揃ひ……
しかも値段は飛切の安値……
五圓・七圓の二種
錦華織女單帶
一筋 貳圓三十錢
▼一見し多くの模様の如し・今夏……
……初めて生れた新製品……
▼令嬢・若き婦人向き平常用さして……
……又た他出用さして最適……
御注文の節は年令、お好みの品等委しくお知らせ下さい、適當品お見立致します、送料は一點に付十八錢（外四十五錢）引換五錢增し
實用百貨は 高島屋の 關西第一の百貨店
高島屋の通信販賣
大阪 長堀 高島屋通販部 振替口座大阪九二一番

諸機械工具、工業用材料、瓦斯管繼手、バルブコック水道、暖房用品並計量器一式
櫻印、月印、バルブコック製造發賣元 木津川製作所
米國オスター會社瓦斯捻型代理店
ライオン印金剛砂布一手販賣店
戶畑鑄物株式會社製 トバタ石油發動機特約販賣店
トバタ石油發動機 二馬力・五馬力十馬力在庫
大阪市西區立賣堀北通六丁目 合名會社 豐福商店 電話新町 長距離

通俗太閤記

四百八十二回

松林伯知講演　加藤由太郎速記



備ては如何と思ふ内に東山を始め御室、竹田、東寺、四日塚、嵯峨、醍醐、山科、鳥羽、大原、岩倉、山崎、鳥羽、伏見稲荷の京の口の處々の方に當つてワーッと云ふ鬨の聲が揚がる、兎角する内に大徳寺の周圍は金瓢二段馬印千成瓢の大幟、旗馬印を押立て、羽柴の軍勢續々と控へたる有樣、此の羽柴の勢を始め、瀧川一益、佐久間盛政等有樣に是を見ると心怯んだものか言葉もなく控へたり、秀吉は厳然として大衆に向ひ『必ず一同騒ぐこと勿れ、唯今焼香を差止めたるは餘の儀にあらず、如何なれば先君の御跡目三法師君を差措きて北畠、神戸の諸君に焼香をさせんとするや、必ず心得違ひをいたすな、また柴田勝家に於ては織田家の權威を輕ふ者なりとは何を以て申せしや、某聊か故君に忠義を盡すの志しを以て今日大法會を致し奉る、唯今秀吉此席に於て法會を營み、其上にて各に申聞かせることこそあり、其時に至り秀吉に野心ありと認むる時は汝等一同にて吉を討取るべし、必ず手向ひは致さん柴田殿、瀧川、北畠、神戸の人々のために此の秀吉、如何なる目にも逢ひ申さん、唯今是に於て述ぶるは秀吉の言葉にあらず、三法師君の仰せなり、由つて一同共心して承はり、吾が器圖に燒香あつて然るべし、先づ其時までは必ずく騒ぐこと無用なり』と常の調子に似もやらず、言語明瞭、其態度從容として迫らざる有樣に、流石の柴田勝家の猛者も思はず頭が四寸ばかり下つた、他の諸侯方に於ても頭を下げて控へましたるは、慥に秀吉の凡ならざる處、爰に秀吉が柴田勝家の面皮を剝ぎ三百諸侯の心膽を驚かしむると云ふ燒香場の三の切り…此時總見宗大和尚また經文を讀上げまする、其間默然として居りましたが、稍あつて秀吉其壇に進み出で御靈前に三拜九拜して、懐中より取出したる祭文を朗々と讀み出しました其文に曰く

時に天正十年今月今日謹而啓す

大日本帝都大徳寺に於て總見院殿前右相府泰巖一品大相國泰山源公大居士の盛靈に對し、敬つて白す

祭文のこと

夫れ熟々惟んみるに地水火風空の五行を離り一度人界に生を得て何者か終りなからんや、松樹も終に朽ちて薪となり、盛んなる花の梢も強風忽ちこれを散す槿花一日の榮も人間一日の盛衰も將皃るなし、電光石火の脆き夢も世の有様、嗚呼悲しい哉、天地陰陽禍福皆以て然る所以なり、君は東海尾陽の三郡に起り天下の大道を興し玉ひ、時なる哉明仁の亂後四海沸騰蟻の如く起り、蛮雄群蟻の如く群がる、蓋し世に糸の亂れる如く、適々忠義の士あるも己れが勢微にして志しを遂ぐること能はず、唯無念の歎涙を絞るのみ、時に君の武徳に由つて近國を服從へ畿内を治め東國を定め、北陸を征し、中國に戰ひを起し、同城を平げ既に七分を降す、其英名は天下に轟き武威は四海に溢れ、上は一天萬乘の君の震襟を安んじ奉り、下は萬民塗炭の苦しみを救ふ、今三分にして天下泰平、國家安穩ならんとす、嗚呼天に浮雲の憂ひあり、地に颶颶の悲しみあり、圖らざりき逆臣明智光秀須彌當海の鴻恩を忘れ勿體なくも君を弑し奉り、無道にも京都に旗を翻へし虎威を振ひ傲つて仁義を飾り民を迷はし諸國の武士を非義に懸けんとす、惡士雲の如く蚊蟻の如く集まる、織田秀吉羽柴筑前守秀吉去る永祿元年始めて仕へまつり、今天正まで歴然二十五年匹夫より出

京城郵便局左側(サクラバー北隣)
ドクトル 三品齒科醫院
電話本局一五〇七番

大邱交通整理 前反則一千七百件

【大邱】大邱警察署は去る二十五日全市に亘つて一齊に交通整理を行つた處反則と認むるものが一千六百七十一件あつた、其内に告發したものが二十三件、説諭を與へたものが百二十六件、注意を與へたものが八百八十五件、制止されたものが六百三十七件に達した、而して更に之を類に示せば自轉車が百三十件、人力車十四件、荷馬車が五件、荷車が二百五十四件、其許可道路使用が九十六件、路上に兒童の遊戯して居たものが七十三件、右側を通行して居るものが九百五十一件、其他九十三件であつた

驪州署射撃會

【驪州】驪州警察署にては去る二十二日午前九時より安山射撃場に於て職員四十名に對する春季射撃會を擧行したるが當日の天候良好であつた爲記錄者に對し賞品授與式を行ひ午後四時三十分散會した

一等四十一點芳之内巡査 二等四十一點福井巡査 三等三十九點 田部長 四等三十七點 巡査 五等三十七點 巡査 平均點數二十四點

篤行者表彰

慶北慶山郡報校及び儒道振興會聯合分館にては來る六月三日郡内の篤行者表彰式を擧行する筈に付道社會課員の出張を申請した(大邱)

將棋新手合(一)

於千葉市南道場七七六 瀧呂木將棋所

角落 △六段 宮松關三郎(東京) ▲二段 澤本大二郎(千葉)

圖は六六歩迄の局面

▲持駒澤本氏 ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金	王	金	銀	桂	香	一
	飛		銀						二
歩		歩			歩	歩	歩	歩	三
			歩	歩					四
	歩								五
		歩	歩	歩					六
歩	歩	角			歩	歩	歩	歩	七
		銀					飛		八
香	桂		金	王	金	銀	桂	香	九

<自八四歩至七八飛>

△八四歩▲七六歩△八五歩▲七七角△六二銀▲七八銀△五四歩▲五六歩△六四歩▲六六歩△七二金▲六七銀△九四歩▲九六歩△五三銀▲七八飛(以下次號)

五月二十九日

(舊暦四月廿六日)

▲三碧▲暗劍東方▲木曜 ▲戊申▲大安▲平▲參宿

▼三碧▲中途で挫ける日進むより退くが利世話事貸物坤と乾が吉

▼四緑▲思つた事は行うて必ず成功する入學旅行開店吉坤と丙が吉

▼五黄▲資本の割合には利益の見えぬ日半戦抱が肝腎坤と南と北が吉

▼六白▲無茶苦茶な事ある日總て控え目にして安全北と巽と南が吉

▼七赤▲出過ぎては損する内輪に行うて存外利益がある巽と艮が吉

▼八白▲親しい事は樹ね面白くない本職を守つて利坤と艮と北が吉

▼九紫▲談事調子よく大に敵を挫く但總括りが大事乾と北が吉

▼一白▲隠忍せば出す穩相常の收益がある待人來る南と艮と乾が吉

▼二黒▲折角の奮闘も無駄に終りい勝易直を旨として利坤と北が吉

殉職國境警官に救助金を支給する

二十六日夜楚山郡に於て匪賊四十名のために我警察官は負傷せりと報があつた、本府の如く國境の一行は其に警察官の職務を執る上は、警察官の配置なき地點まで過つた齋藤總督、丸山警務局長への救恤は保護されなかつた、只官に同僚の醵金と警察協會の慰問がそれに依つてあた丈けである、國境警察官の辛苦は實地に味はねば解るものではない、幸ひ今回の總督巡視によつて酷烈状態の實地視察を爲し得たのは警察官に取つて非常なる光榮である る次第である救助金の規定は大體巡査二千圓、警部補二千五百圓、警部三千圓と云ふ順序で支給さるもので今回は特に國境警察官のみに適用する事となるで現れると夫丈一時に多くの金を支出せねばならぬ、と御下賜に就ては丸山警務局長より が丸山警務局長は統監府にて西崎安東領事と打合を了し 協議の結果

朝鮮海事總會

三十日遞信局で開催

朝鮮海事總會は會長に遞信局長 來る五月三十日午前 時總會を開催 時勉氏の功績を表彰し之を名譽會員に推戴する筈であると

君が御顔を美はしく

一、君が御顔を美はしく見せる爲に、有名なフランスのペネル博士の作つた星製藥の化粧料を推薦いたします。

二、全く今日まで想像も附かない優れた化粧料だと大評判で御座います。

三、輸入稅なしの舶來品だと多くの御婦人方は喜んでゐらつしやいます。

東京で一番賣れる
ホシ美化粧料

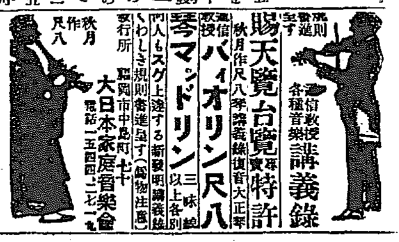
ホシ美御化粧料

ホシ美固煉白粉	七十銭	
ホシ美煉白粉	卅五銭	
ホシ美水白粉	小卅五銭	大六十銭
ホシ美クリーム	五十銭	
星美液	三十銭	
ホシ美ベルツ液	三十銭	
ホシ美化粧水	三十銭	
ホーサン入ホシ美化粧石鹸	廿五銭	
ホシ美香油	小五十銭	大一圓五十銭
ホシ美ベーラム	小六十銭	大一圓
ホシ美ポマード	小四十銭	大七十銭
ホシ美汗おさへ	小十銭	大二十銭

資本金五千萬圓
星製藥株式會社
東京

京城府旭町一丁目(電話本局六九二番病院用)(同四三六九病院長用)
内科 小兒科
小林病院
院長 醫學士 小林千壽
入院隨意(普通病室)(特別室)

銀盃受領 特許消日式 集魚燈一式 佛國式瓦斯管接續具 瓦斯器具カーバイト
農商務省檢定計器販賣店
釜山本町一
濱口魚燈商會
電話一五九六番

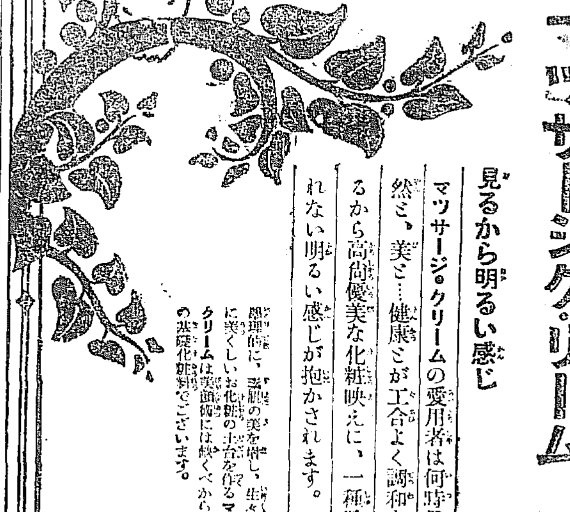


賜天覽台覽 實用新案特許
規則進呈す
通信教授 各種音樂講義錄
秋月作尺八八琴講義錄賞大正年
バイオリン尺八 琴マンドリン 三味線 以上各別
素人もスグ上達する新發明講義錄
くわしき規則書進呈す(郵物注意)
發行所 福岡市中島町七十
大日本家庭音樂會
電話一五四四・二七一九

最高級田園害蟲驅除藥
登錄商標
安住除蟲粉
あずみじよちうふん
勅定綠綬褒章拜受
各府縣農會御用命品
代理店 京城本町 京城南大門 仁川 京町
大阪
木綿 安住大藥房
資本金壹百五拾萬圓

本材の需要期に入りました
本社は一車以上一千車までは何時でも廉價且つ敏速に御注文に應じます
共榮起業株式會社
長春日本橋南詰
電話(長)三七八・二一番

pompeian
ポンピアン
マッサージ・クリーム



見るから明るい感じ

マッサージ・クリームの愛用者は何時見ても、自然さ、美さ…健康さが工合よく調和されて、見るから高尚優美な化粧映えに、一種云ふに云はれない明るい感じが抱かされます。

合理的に、素肌の美を増し、生々とした艶に美くしいお化粧の土台を作るマッサージクリームは美顔術には缺くべからざる唯一の基礎化粧料でございます。

ポンピアン會社東洋總代理店
東京 佐々木商店 銀座